

TICA Board of Directors Annual Meeting Agenda
August 27 – 29, 2025 Dresden, Germany

Minuet Talls キャンペーン

以下は、TICA が Minuet Talls (旧称ノンスタンダード) にチャンピオンシップの地位を与えることを支持する主張です。

争議

1. 遺伝物質：

背の高いミヌエットと背の低いミヌエットは、同じ一腹から生まれる可能性があり、これは受胎時に起こる遺伝子の組み合わせの結果です。脚の長さ以外に、ミヌエットの2つのバージョン（背の高いミヌエットと背の低いミヌエット）の間には遺伝的または身体的な違いは無く、また、ミヌエットの繁殖において、一腹の中の背の高いミヌエットや背の低いミヌエットの外見を操作することはできません。そのため、同じ一腹から生まれた Minuets tall は、次の世代の繁殖に理想的な遺伝物質を持つ機会があり、例えば、ある一腹の Minuets tall が偶然に受け継いだ特定の色、模様、または体の特徴（毛並み、丸い耳、涙目にならない目など）を移植することで、次世代の特徴を強化することができます。この能力により、ミヌエットの繁殖プログラムに理想的な Minuets tall の女王猫（母猫）または種猫を組み込むことができ、ミヌエットの繁殖プールを拡大することができます。また、PS グループへの繁殖オプションへの復帰をためらうブリーダーも、ミヌエットの品種基準では欠点となる極端な特徴（鼻の折れ、涙目、大きな頭など）を持つ子猫を産む可能性を秘めているため、PS グループへの復帰を躊躇するブリーダーにとって、その選択肢が広がります。また、引退予定の女王猫と種猫の交配に成功した結果、Minuets tall しか入手できなかった場合、ブリーダーにとって、特定の血統を継続させる唯一の選択肢が Minuets tall になるという選択肢もあります。

2. 致死性優性遺伝子：

猫の軟骨無形成症（矮小症）を引き起こす遺伝子は自然発生する遺伝子であり、ミズーリ大学のレスリー・ライオンズ博士によって研究されています。ライオンズ博士は研究の中で、猫の矮小遺伝子に関連する健康上の問題はなく、矮小猫は比較的遺伝的に健康で長生きであると結論付けています。しかし、短足のミヌエットを含むすべての矮小猫は、長足遺伝子と短足遺伝子をそれぞれ1つずつ持っています。その結果、Minuet Talls は長足遺伝子を2つ持っています。短足遺伝子（猫の軟骨無形成症を引き起こす遺伝子）は致死性優性遺伝子であることが判明しており、両親猫（女王猫と種猫）の両方が短足遺伝子を持っている場合、胚は形成されず、遺伝物質は女王猫によって再吸収されます。この致死性優性遺伝子を考慮すると、短足のミヌエットを2匹交配し、子孫を残すことは可能です。しかし、遺伝物質の再吸収率が25%（子猫は生まれません）であるため、出産数は統計的に少なくなります。そのため、妊娠が失敗する可能性があります。これは子宮蓄膿症を引き起こし、母猫に深刻な健康問題のリスクをもたらします。そのため、多くのミヌエットブリーダーは、この可能性を避けるために、繁殖プログラムに Minuet Talls を含めることを選択します。短足のミヌエットと Minuet Talls を交配すると、遺伝物質の再吸収率が25%になるのを防ぐことができます。Minuet Talls は長足の遺伝子を2つ持っており、両親猫から短足の遺伝子が2つずつもたらされる可能性を回避できるからです。

3. マウンティング能力：

短足の雄ミヌエットとミヌエットの雌（短足と長足の雌の両方を含む）との交配は成功しているものの、短足の雄ミヌエットの中には、雌への乗馬が困難な個体もいるという報告があります。これは、雌への乗馬ができないという理由だけで、繁殖に成功する雄ミヌエットの遺伝子プールを減少させてしまうこととなります。雄ミヌエットの遺伝子プールをツールまで拡大することで、ブリーダーは Minuet Talls を繁殖訓練プログラムに組み入れることができます。この議論は、論点1「遺伝物質」に戻ります。つまり、短足のミヌエットと Minuet Talls の両方から優秀な繁殖用雄ミヌエットを選抜するための遺伝子プールを拡大することで子猫の質を向上させているのであり、優秀な短足のミヌエットの雄の一部がマウンティングできないからといって遺伝子プールが減少するわけではないということです。

4、適切な脚の長さの維持：

突然変異や異常な特徴を持つ猫の繁殖には、無責任なブリーダーがその特徴を悪用して模倣するリスクがあります。ミヌエツの場合、脚がどんどん短くなるように繁殖が行われており、猫の運動能力と生活の質が大きく損なわれます。ミヌエツの責任ある繁殖は、脚の長さに関わらず、健康で効率的に移動できるミヌエツの生産に重点を置いています。dwarf Minuets,の繁殖においては、脚の長さが極端に短いのではなく、適度な短さが求められます。極端に短いと、猫は背丈のないグロテスクな外観になり、運動能力が低下します。このような猫はしばしば rug huggers と呼ばれ、深刻な問題を抱えています。しかし、レスリー・ライオンズ博士との話し合いにより、Minuet Tall を繁殖プログラムに用いることで、脚の短縮を防止または修正することが可能であることが確認されました。彼女は、脚の長さの遺伝学は複雑で多くの要因が関係しているが、簡単に言えば、それは可能だと述べました。

5、外観：

ミヌエツは他の品種とは異なる外観を持つ品種です。脚の長さに関わらず、人形のような顔立ちと被毛、そして体格からミヌエツと判別できます。ミヌエツはPS種のミニチュア版ではありません。実際、PSグループの特定の特徴は、ミヌエツに見られる欠点と見なされています。これには、鼻の折れ、下向きの顎、綿毛のような被毛、コビーな体型などが含まれます。極端な外見のミヌエツは、基礎品種（PS種グループ）にあまりにも似すぎているため、品質が低いとみなされます。したがって、ミヌエツがマンチカンに似すぎて鋭角な特徴を持つ場合も、品質が低いとみなされます。適切なミヌエツとは、顔と顔立ちが適度に丸みを帯び、セミコビーな体型でありながらトップラインがまっすぐで、ダブルコート（短毛または長毛）を持つ品種です。（より具体的な特徴については、ミヌエツのスタンダード参照。）

6、繁殖用猫の認証

他の血統書付き championship cat と同様に、その品種の個体を展示する目的は、繁殖プログラムで使用するための認証を得ることです。動物（猫、犬、ウサギなど）を展示することは、品種スタンダードの訓練を受けたジャッジが、出陳者が提示した繁殖プログラムの中で最高の個体として称賛する手段でした。この称賛はタイトルや賞の形で与えられ、ブリーダーは最高の血統を育成する過程で誇りと達成感を得ます。この伝統は、TICA 公認品種の血統書付き猫がチャンピオンシップステータスを獲得する際にも適用されてきました。特定の品種が「ショーに出場可能」とみなされない品種、例えばフルコートのピーターボールドなどの場合、そのような品種をショーに出場させないかどうかは、品種団体の決定です。Minuet Talls は統計的に私たちの繁殖猫の半数を占め、短足タイプと比べて欠点や欠陥を抱えやすいわけではないことから、ミヌエツの繁殖開始当初から、私たちの繁殖プログラムにおいて非常に重要な役割を担ってきました。前述の通り、Minuet Talls は私たちの繁殖プログラムにとって貴重な財産であり、ミヌエツ・ブリード・グループは、TICA の優れた血統猫を表彰する伝統に Minuet Talls を加えるべき時が来たと感じています。

添付資料 C

提案された変更の根拠：

ミヌエツ品種グループは、2024 年秋に、New Traits（新特性）プロセスを用いて Minuet Talls をチャンピオンシップに昇格させるための提案書を提出しました。この申請書は、ルール委員会と遺伝学委員会に提出されました。遺伝学委員会のメンバーからのコメントによると、ミヌエツはそれ自体が特徴的な品種ではないことが示されました。ミヌエツ品種委員会は、ミヌエツが特徴的な品種であると確信していますが、現在の品種標準では、他の品種との類似性から独立した品種としてミヌエツを十分に説明していないことに同意します。この点において、ミヌエツ品種委員会は、ミヌエツの視覚的なイメージを描写的な表現で表現できるよう、ミヌエツ品種スタンダードを改訂しました。品種標準の新しい文言とともに、ミヌエツの特徴を示す写真が提出され、遺伝学委員会がミヌエツが他の猫種の矮小版ではないことを理解できるようにしています。遺伝学委員会のコメントのおかげで、基準を見直し、猫の記述において不十分な点があることに気付くことができました。私たちは一致団結して作業を進め、基本的には同じことを述べながらも、より強化され、補完的な形で新しい基準を作成することができました。ミヌエツは、親の交雑種や他の品種を代表するものではなく、独立した単一の品種として捉えられるようになりました。

添付資料 B

現行の標準規格の変更点は以下のとおりです（文言の修正を含む）。

ミヌエット品種グループ (MNT/MNL/MTT/MTL)

ミヌエット (MNT) とミヌエット・ロングヘア (MNL) は、短足で骨ばった猫です。両種は被毛の外観のみで区別され、短毛種 (MNT) はふさふさしたオールウェザーの被毛を持ち、長毛種は長く絹のような被毛に枝毛と羽毛状の尾を持ちます。Minuet Tall (MTT) と Minuet Tall・ロングヘア (MTL) は、短足の dwarf, とミヌエット LH の通常の脚の長さのバージョンであり、脚の長さを除くすべての点で短足バージョンと一致しています。ミヌエット (MNT) と Minuet Tall (MTT) は短毛種で、ミヌエット LH (MNL) と Minuet Tall LH (MTL) は長毛種です。

Head:	43 40 points total
Shape	10 10 points 9 9 points
Eyes	10 10 points 9 9 points
Ears	8 points
Chin/Nose/Muzzle	10 10 points 9 9 points
Profile	4 points
Neck	1 point
Body:	45 40 points total
Torso	10 10 points 8 8 points
Legs	8 points
Tail	7 7 points 4 4 points
Boning	9 points
Musculature	9 points
Feet	2 points
Coat:	20 20 12 12 points total
Length	10 10 5 5 points
Texture	10 10 7 7 points
Category:	All
Divisions:	All
Colors:	All

Permissible Outcrosses: Persian Breed Group, Munchkin Breed Group

HEAD :

Shape:どの方向から見ても丸みを帯び、頬のラインに向かって幅が広く見える。頬の緩やかなカーブは温かみと魅力を醸し出す。オスの場合は stud jaws (雄々しい顎) も考慮に入れる (写真 1、2 参照)

耳: 中くらいの大きさで、丸みを帯びた耳で、先端は丸く、根元は広い。耳は頭部の上で広く離れており、頭頂部と側頭部の間隔はほぼ同じである。(写真 3 参照)

目: 大きく丸く、猫の純粋な好奇心を喚起します。広く水平に並んでいます。目の内側は鼻革の幅よりも外側にある必要があります。頬骨が目立ち、目の開きが悪くなるようなことはなく、目は陥没したり突き出たりしていません。目の色は毛色とは無関係です (写真 4 参照)

Chin: ふっくらと丸みを帯びています。頬や額を引き立て、魅力的で力強い印象を与える、まとまりのある印象を醸し出しています。横顔では、顎は鼻と一直線で、突き出たり引っ込んだりしていません。(写真 5 参照)

マズル: 丸みを帯び、高さよりも幅が広く、4つの部分に分かれています。上半分は鼻、両脇は肉厚のヒゲ、下半分は顎です。各部分はパズルのようにぴったりとフィットし、極端に突出したり、ずれたりしてはいけません。ヒゲは極端に突出してはならず、ヒゲが途切れることなく、頬に優しく溶け込んでいます。マズルの長さは短いですが、短く突き出ている状態ではありません。(写真 6、7、8 参照)

鼻: 短く、幅広く、はっきりとしたストップがあるが、切れ目はあってはならない。鼻先が鼻先より下がってはならない。鼻先は目の下端より上に出てはならない。鼻先は、猫の愛らしい表情を引き立てる小ぶりの特徴であるべきである。しかし、呼吸しやすいように鼻孔は開いているべきである。(写真 9 参照)

横顔：鼻は短く、鼻から額にかけてははっきりとした切れ込みがあり、その後は緩やかに丸みを帯びた方向に変化し、途切れることはありません。額は眉から後頭部にかけて滑らかで丸みを帯びていますが、ドーム型ではありません。（写真 10 参照）

首：力強い印象です。丸みを帯びた幅広の頭部と相まって、力強く健全な印象を与えます。首は胴体とのバランスが取れており、中短めです。短すぎず太すぎず、長すぎず細すぎず、筋肉質です。（写真 11 参照）

BODY:

胴体：中短で丸みを帯びた体型で、胸は広く脇腹は深くない。胴体の前面の深さは、腰の深さとほぼ同じであるべきである。胴体は力強さを醸し出し、猫の体格を引き立てる。背中は肩から腰までまっすぐで、地面と水平か、後肢に向かってわずかに盛り上がっているべきである。（写真 12 参照）。

脚:

MNT/MNL

短く、よく発達し、がっしりとしていて、筋肉がしっかりしている。脚と筋肉が短いため、大腿部の外側は太く目立つ場合がある。前脚の内側はまっすぐで、ほとんど湾曲していないが、わずかに湾曲していても許容される。脚の長さは体長の 4 分の 1 未満であってはならない。後脚はまっすぐで、一直線になっている。

(MTT/MTL):

体長は differs とは異なり、中型で非 differs の猫と同程度の長さです。筋肉は発達し、引き締まっています。後脚はまっすぐで、一直線です。

(MNT/MNL については写真 13、14、15 を参照)

足：丸みを帯びて整っており、長毛には房がある。（写真 12 参照）

尾：長く、少なくとも肩まで届くか、それ以上の長さ。根元から均一な太さで、先端に向かって徐々に細くなり、鈍角になっている。長毛種は、羽毛状の尾や流れるような尾を持つ。（写真 16 と 17 参照）

骨格：全体的にがっしりとしていてしっかりしている。細くはない。前脚は胸幅からまっすぐ伸び、がっしりとした印象を与える。しかし、「ブルドッグ」のような外見であってはならない。骨格は健康的で均整の取れた体重を支え、全体的な運動能力と強さに貢献するが、過度に脆弱であったりずんぐりしていたりしてはならない。（写真 18 参照）

筋肉：しっかりとした頑丈な体格。成熟した成体ではよく発達している。脚と胸は太め。メスは成体のオスに比べてやや体格が劣る。前肢、肩、上肢は強靱で、素早い動きと優れた飛びかかり能力を発揮する。（写真 18 参照）

被毛／毛色／模様：

長さ (MNT/MTT)：短いですが、他の短毛種よりわずかに長い。密生しており、体から離れて立っている。平らに寝ていたり、窮屈に感じたりしない。

長さ (MNL/MTL)：セミロングからロング。ラフ、ブリッチ、尾はアンダーコートによってボリュームが増し、より長く見える。肩と鞍部分の被毛は、体に滑らかに流れる。

質感

(MNT/MTT)：ふっくらとした、全天候型のダブルコート。柔らかい被毛。季節、地域の気候、ホルモンバランスの変化に対応します。

(MNL/MTL)：ふっくらと柔らかくシルキーな被毛。綿毛のような質感ではないが、ダブルコートである為、季節、地域の気候、ホルモンバランスの変化により被毛の状態は変化する

概要：ミヌエットは PS グループとマンチカンの交配から作られたハイブリッドですが、遺伝子プールが拡大しているため、ブリーダーはミヌエットグループ自体内での繁殖をますます増やすことができます。望ましい結果は、頑丈な骨格と筋肉を備えた、中型で力強い猫であるべきです。前肢、肩、上肢は強く、素早い動きと優れた飛びかかりスキルを可能にします。後肢、腿、ふくらはぎは力強く、優れた走行スキルとジャンプスキルを可能にします。この猫は、無邪気な驚きの表情をした非常に開いた丸い顔と、涙のない大きな目をしている必要

があります。理想的なミヌエットは、遊び好きな性格で、活動的でありながらのんびりとした猫です。

ALLOWANCES：子猫は頭がやや丸みを帯びていない。子猫の耳はやや大きい。成熟した雄猫は頬が垂れている。鼻が突出している。雌猫は成熟した雄猫よりも小柄で、体格も劣る。口ケット状の鼻。目の色は必ずしも毛色を反映しているわけではない。

PENALIZE：眉尻、頬骨の突出、ドーム型、過度の裂け目。より細い骨。鼻が丸い。

失格 (DQ)：鼻が折れている、口角が歪んでいる、過度にお辞儀をしている、目が突き出ている。顎が下顎または上顎に突出している

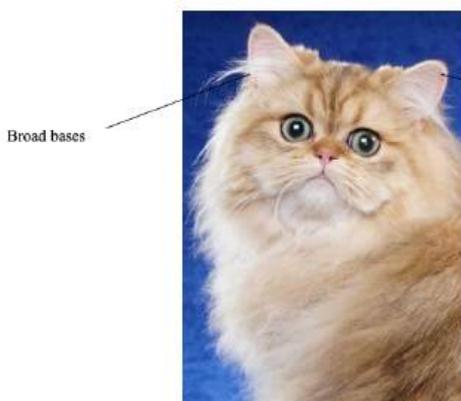
PICTURES FOLLOW



Picture 1
Minuet (MNT) Shorthair
Head round, slightly broader at the cheek line



Picture 2
Minuet LH (MNL)
(Head) Round when viewed from any direction



Picture 3
Minuet LH (MNL)
(Ears) Medium, well-rounded
Set wide apart, as much on top as on side of the head

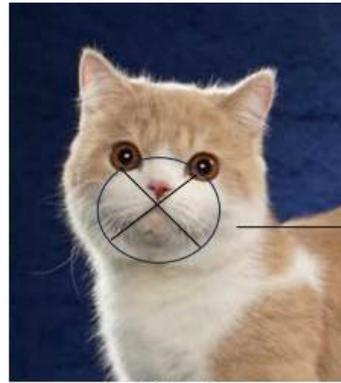
No evident
cheekbones



Picture 4
Minuet LH (MNL)
(Eyes) Large and round, giving sense of innocent wonder
Set wide and level
Inside of eyes set outside the breadth of nose leather



Picture 5
 Minuet LH (MNL)
 (Chin) Full and rounded
 Complements cheeks and forehead in the roundness



Picture 6
 Minuet (MNT) shorthair
 (Muzzle) Rounded with more breadth than height

Four portions: Each portion fits together like a puzzle with no portion being extreme or out of alignment.



Picture 7
 Minuet LH (MNT)
 (Muzzle) Whisker pads should not be exceedingly prominent
 No whisker break, blending gently into the cheeks



Picture 8
 Minuet LH (MNL)
 (Muzzle) Length of muzzle should be short, not snub



Picture 9
 Minuet LH (MNL)
 (Nose) Short, broad, with obvious stop, no break.

Top of nose leather does not come above lower edge of eyes.



Picture 10
 Minuet LH (MNL)
 (Profile) Length of nose is short; no break

Forehead is smooth and round but not domed.

Prominent stop from nose to forehead, with soft, round change in direction.

Chin runs perpendicular up to nose, where there is a definite change in direction.



Picture 11
 Minuet (MNT) shorthair
 (Neck) Muscular, medium-short, paired with a rounded head.
 Enhances the overall appearance of strength and sound structure.

Good clearance between underside of torso to the ground.



Picture 12
 Minuet (MNT) shorthair
 (Torso) Semi-cobby and solid

Flanks not deep. Depth of front torso almost even to depth of torso at hips.



Picture 13
Minuet LH (MNL)

(Legs) Short, well-developed, and sturdy, with firm musculature



Picture 14
Minuet LH (MNL)

(Legs) Legs not extremely short, where cat's belly has little clearance to the ground.

Good clearance between belly and ground. Long hairs can obscure depth of clearance.



Picture 15

Minuet (MNT) short hair

(Legs) Good clearance between belly and the ground



Picture 16
Minuet LH (MNL)

(Tail) Long, at least to shoulder or longer. Longhairs can be plumed or flowing



Picture 17

Minuet (MNT) shorthair

(Tail) Even thickness starting at the base, with gradual taper to a blunt end



Picture 18

Minuet (MNT) shorthair

(Boning/Musculature) Overall substantial and solid. Supporting a healthy well-proportioned body weight. Thicker in legs and chest; forelegs, shoulders, and upper chest are strong.



Picture 19
Minuet LH (MNL)

(Balance and condition): Gives the impression of having great balance with four feet on the ground.

Comparison to Other Breeds
Why the Minuet Is Not Similar to Another Breed

Minuet vs British Shorthair



Minuet Longhair vs British Longhair



Minuet vs American Shorthair



Minuet vs Scottish Straight



Minuet LH vs Scottish Straight LH



Proposed April 2025 Advancement of New Traits as Minuet Tall in a Breed Group: Breed Standard Changes

Voting Results

Rationale:

<https://links.tica.org/2025/April/MNT-MNL-MTT-MTL/Rationale.pdf>

Genetics Committee Comments:

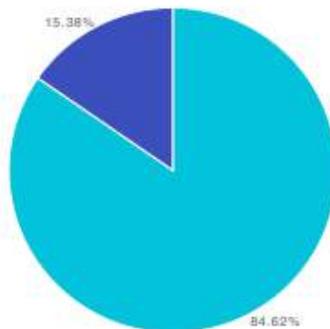
https://links.tica.org/2025/April/MNT-MNL-MTT-MTL/Genetics_Committee_Comments.pdf

Proposed Standard Changes:

https://links.tica.org/2025/April/MNT-MNL-MTT-MTL/Proposed_Standard.pdf

Do you approve the **above-linked** changes to the standard:

Answered: 39



● Yes

● No

Choices	Response percent	Response count
Yes	84.62%	33
No	15.38%	6

Minuet Talls - New Traits からチャンピオンシップへの申請 (2025 年春)

概要：

この申請は当初、Winter 2025 meeting に提出されました。委員会は、品種グループが当初提出された提案基準に関して遺伝委員会と規則委員会の両方から提起された懸念に対処するため、Spring 2025 meeting に延期しました。品種委員会は、今回の会議で提示するために基準に大幅な変更を加えました。この改訂された基準には、品種グループの再投票が必要であることは関係者全員の理解を得ています。規則委員会は、Minuet Tall をチャンピオンシップに昇格させるための申請を審査しました。この申請は、規則 33.9.2 に定められた基準を満たしています。委員会は、昇格を決定する前に遺伝委員会の助言を求めるとともに、ミヌエット品種グループの投票で肯定的な結果が得られたことを確認する必要があります（規則 33.9.2.6 で義務付けられているとおり）。品種コード MTT (Minuet Tall) と MTL (Minuet Tall ロングヘア) が提案されており、EO で適切であることが確認される必要があります。この種の過去の申請と同様に、ボードはまず、改訂されたスタンダード（2026 年 5 月 1 日発効）を承認するかどうかの投票を行う必要があります。承認された場合は、新たに追加された 2 つの品種をチャンピオンシップの地位に承認するための 2 回目の動議を提出する必要があります（これも 2026 年 5 月 1 日発効）。

Breed Standard に関するコメント：

品種委員会による多大な努力の結果、改訂版の Breed Standard が提供され、ルール委員会はこの新しいバージョンに異議を唱えませんでした。

申請基準：

ルール委員会は TFMS にアクセスできないため、申請書に記載された登録情報は事務局

(EO) が確認済みであるとみなします。委員会は、本申請における会員およびブリーダー情報の確認にご協力いただいた事務局長に感謝申し上げます。本申請は登録規則 33.9.2 に定められた基準を満たしていますが、委員会は以下の点について留意いたします。

●58 匹の猫が登録済みと記載されていましたが、そのうち 6 匹は生年月日が 3 歳未満でした。それでも 52 匹の猫が 33.9.2.3 の要件を満たしていました。

*Reg 33,9,2,3（申請前の 3 年間に New Trait を発現する猫の最小数が次のように登録されていること）に 5 2 猫が該当する。

2025 Annual 報告書に対する遺伝学委員会のコメント

Minuet: Spring meeting でスタンダードが改善されましたが、ポイント配分が間違っていました。ポイント配分の問題は修正されました。今後の参考として、遺伝委員会は肩甲骨の後ろのくぼみを減点対象とすることを検討すべきだと考えています。スタンダードでは背筋がまっすぐであることが求められており、これは良いことですが、くぼみのある個体がかかり多く見られ、これは構造的に健全ではありません。

Lyssa Paull
MX CY TICA Breed Committee Chair
10530 151st Ave SE
Renton, WA 98059

7/7/25

RE: MX CY New Traits Application to Add Tailed Cats to Championship

TICA Board of Directors,

The breed committee of the Manx/Cymric breed group is respectfully requesting to Advance the Tailed Manx/Cymric to Championship.

Regarding membership –

- We have met the 10 active members requirement.
 - One member mistakenly let her membership lapse for a month, confused about the difference between lifetime cattery and membership, but she has remedied that.
 - Another member had a litter that needed to be registered, that happened in the time allotted.
 - All known active breeders/exhibitors have signed our New Trait request letter.
 - There are a few breeders that exhibit more often in CFA and do register in TICA but do not see a benefit to TICA membership. Even so, per the CFA website, there are only 11 members of their MX – SH/LH breed section for the 2025-26 season. They are following this effort closely and we believe this will help more participation from them going forward. FIFe has also made a Tailed MX/CYT class for Championship, those breeders are also applauding our efforts.

Regarding the number of cats registered exhibiting the 'new' trait, or even just in general registrations numbers, we do satisfy the first option in 33.9.2.3, which is 33.9.2.3.1 Ten cats in breeds registering fewer than 100 cats (in the past 3 years.) From 2022 through 2024, 24 non-standard MX/CYT were registered, per the EO.

Please also consider-

- Tailed kittens occur in nearly all our litters, registered or not. Oftentimes, we have more tailed kittens than rumpies of any degree. Sometimes there are no rumpies.
- However, these litters/kittens are not always registered if it is determined they would not be used for breeding. Those reasons could be not just for type but also no need to keep more tailed specimens.
- While there is a place on the litter registration to note non-standard to indicate a tailed or otherwise not necessarily able to be shown (rumpy with significant riser), but once the kitten is fully registered, that notation is lost. This makes it even harder to go back through older registrations and know which ones were tailed. We have had to rely on the active breeders' records.
- We have met the requirement to show at least 10 examples of the 'new' trait.

As you are aware, the MX/CY is an old breed resulting from a naturally occurring mutation first observed/documentated on the Isle of Man in the 1400s. Cats exhibiting this gene have survived naturally as a result of the presence of tailed cats in the gene pool. It would be a shame to completely lose these cats from the fancy.

We must have these cats for breeding and we believe that being able to also show them in championship will

- Revitalize our breed and the interest in with the public.
- Draw in more participants in the breed group as breeders and/or exhibitors.
- Encourage more responsible breeding and use of tailed specimens in programs more often. This is of course in the best interest of the health and survival of the breed.

Thank you for your time and consideration in our request. We believe your faith in us in this effort will be rewarding for everyone.

Best Regards,

Lyssa Paull
MX/CY Breed Committee Chair

マンクス品種グループ (MX/CY/MXT/CYT) マンクスとキムリックの特徴

マンクスとキムリックは基本的にすべての点で同じですが、キムリックの方が被毛が長いです。キムリック (CY/CYT) は、ミディアム/セミロングの被毛で、絹のような質感で、毛色によって異なります。Britches、指間の毛の房、そして耳の豊かな装飾が、キムリックとマンクスを区別する特徴です。マンクス (MX/MXT) は、短くてパッドがたっぷり入った被毛で、よりパリッとした質感で、毛色によって異なります。耳の毛がまばらで、指間に毛の房がないことから、マンクスは短毛種の猫であることが分かります。

HEAD	35 40 points
Shape	6-7
Ears	6 7
Eyes	5 6
Chin	5 6
Nose/Muzzle/Profile .	8
Neck	5 6
BODY	40 points
Torso	10
Legs and Feet	10
Tail(less) Tailless/Tailed.	8
Boning/Musculature	12
COAT/COLOR/PATTERN	15 20 points
Coat Length	5
Coat Texture	5 10
Pattern/Color	5
OTHER	10 points
Balance	5
Condition	5

CATEGORY: All. DIVISION: All. COLORS: All.

PERMISSIBLE OUTCROSSES 許可される交配種:なし

HEAD:

形状: 丸みを帯び、幅よりわずかに長い。中型。

頬は突出し、豊満である。成熟した雄は、顕著なスタッジョールを有する。耳: 根元はやや広く、先端に向かって細くなって丸みを帯びている。中型で、広く離れており、後ろから見るとゆりかごの揺りかごの揺りかごの揺りかごのように見える。

MX/MXT は耳飾りが少なく、わずかな耳飾りがある場合もある。CY/CYT は耳飾りが豊富で、軽度から多量の耳飾りがある。リンクスチップは許容される。

目: 丸く大きく、角度があり、目の外側の縁がわずかに高くなっています。色は毛色のカテゴリーに準じますが、他のすべての点が同等である場合のみ考慮されます。

顎: 強く、肉付きがよく、鼻革と一直線になっている。

マズル: 幅よりわずかに長く、明確なマズルブレイクがある。丸い whisker パッド。

プロフィール: 緩やかな鼻先と適度な傾斜、鼻梁のわずかな隆起、額の丸み。

首: 短く太い

BODY:

胴体: ずんぐりとした中型の体。側面は深く、背は短く、肩から丸い臀部まで滑らかなアーチを形成している。体のバランスが崩れるほど短くなってはならない。

脚: 骨格はがっしりとしていて、筋肉質です。前脚は短く、広い胸を強調するために広く離れています。後脚は前脚よりも高く、体の背面から前面にかけて角度をつけています。

足: 丸型、中くらいのサイズ

尾なし: 手のひらを背中から臀部にかけて撫でた際に、骨や軟骨が盛り上がりジャッジの手を止めない場合は減点なし。

尾: 体長に比例し、肩から臀部までの長さが体長の 2/3 であることが理想的です。太さは骨の長さに比例します。先細りまたは鈍い先端も許容されます

骨組み: しっかり～重厚。

筋肉: 筋肉質

COAT/COLOR:

長さ (MX/MXT): 短いダブルコートですが、密着していません。
(CY/CYT): 中くらいの長さのダブルコート。

質感: (MX/MXT) 柔らかい。柔らかく厚みのあるアンダーコートは、毛並みによく詰まった被毛を形成します。外側の毛皮の質感は、毛色によって異なります。
(CY/CYT): 下毛は柔らかく厚く、シルキーな手触りでありながら、ふっくらとしており、毛並みは良好です。毛色によって異なる場合があります。季節によって毛の長さや質感が変化することは許容されます。

Pattern: All.

色: すべて。白いボタンまたはロケットは許可されており、ペナルティはありません。

一般的説明: 全体的な外観は、中型で、コンパクトで、筋肉質な猫のそれであるべきです。マンクスとキムリックは、しっかりとしたマズルと突き出た頬を持つ丸い頭、短い前脚、高い後躯、深い脇腹、短い背中を持ち、肩から丸い臀部まで滑らかな連続したアーチを形成し、腰が最も高い位置にあります。臀部は水平である場合があります。マンクスとキムリックは成長が遅く、脇腹の深さ、雄の stud jowls、および全体的な未成熟を判断する際には若い猫を考慮に入れる必要があります。マンクスとキムリックは尾がないように見えますが、尾のあるものは尾の存在を除いてすべての点で同じように見えます。尾のないマンクスとキムリックの臀部は、手のひらだけで触ることができます。尾のあるバージョンは、尾を過度に扱わないように同様に扱う必要があります。脇腹は他のどの品種よりも深く、短くてずんぐりとした外観を強調します。

PENALIZE: 目が頭部に対してまっすぐ横に並んでいる、または目が接近している。体が長く、背中が水平である。後肢が短く、骨格が細い。後肢は曲がっているか、内反膝である。MXT/CYT では尾が長く、または鞭状である。

すべての賞を差し控える (WW): 病気または健康状態不良。

失格 (DQ): 先天性奇形。後肢の弱さにより、正しく立ったり歩いたりできない。

気質は挑発的であってはならない。明らかな挑発行為は失格となる。

猫は恐怖を示したり、逃げようとしたり、大声で文句を言ったりすることはあっても、危害を加えると脅すようなことはあってはならない。シヨールール第 16 条に従い、以下の場合には強制失格とみなされます：嘔む猫 (216.9)、欺く意図の証拠を示す猫 (216.10)、2 つの睾丸が下降していない成猫の雄猫 (216.11)、委員会が承認したスタンダードで許可されている場合を除き、尾の全部または一部が欠損している猫 (216.12.1)、負傷の結果であることが証明されるか、委員会が承認したスタンダードで許可されている場合を除き、前足に 5 本以上の指があり、後ろ足に 4 本の指がある猫 (216.12.2)、委員会が承認した標準で失格が求められる場合、尾の欠陥が見えるまたは見えない場合 (216.12.4)、委員会が承認したスタンダードで失格が求められる場合、斜視 (216.12.5)、完全な失明 (216.12.6)、品種にそぐわない著しく小さいサイズ (216.12.9)、胸骨の陥没または異常に小さい胸郭自体の直径 (216.12.11.1)。罰則および失格に関するより包括的なルールについては、シヨールール第 16 条を参照のこと。

マンクス品種グループ (MX/CY/MXT/CYT) マンクスとキムリックの特徴:

マンクスとキムリックは基本的にすべての点で同じですが、キムリックの方が被毛が長い。キムリック (CY/CYT) は、ミディアム/セミロングの被毛で、絹のような質感で、毛色によって異なります。ブリティッシュショートヘア、指間の毛の房、そして耳の豊かな装飾が、キムリックとマンクスを区別する特徴です。マンクス (MX/MXT) は、短くてパッドがたっぷり入った被毛で、よりパリッとした質感で、毛色によって異なります。耳の毛の房がまばらで、指間の毛の房がないことから、マンクスは短毛種の猫であることが分かります。

HEAD	40 points
Shape	7
Ears	7
Eyes	6
Chin	6
Nose/Muzzle/Profile .	8
Neck	6
BODY	40 points
Torso	10
Legs and Feet	10
Tail Tailless/Tailed.....	8
Boning/Musculature	12
COAT/COLOR/PATTERN	20 points
Coat Length	5
Coat Texture	10
Pattern/Color	5

CATEGORY: All. DIVISION: All. COLORS: All.

PERMISSIBLE OUTCROSSES:マンクスであることが証明された猫

HEAD:

形状：丸みを帯び、幅よりわずかに長い。サイズは中型。頬は突出し、豊満である。成熟した雄は、雄らしい顎が目立つ。

耳：根元はやや広く、先端に向かって丸みを帯びている。中くらいの大きさで、耳と耳の間は広く離れている。後ろから見ると、ゆりかごの揺りかごのような形をしている。MX/MXTは耳飾りが薄く、耳毛がわずかに生えている場合もある。CY/CYTは耳飾りが十分に生えており、耳毛がわずかに生えている場合もあれば、より大きく生えている場合もある。リンクスチップは認められる。

目：丸く大きく、角度があり、目の外側の縁がわずかに高くなっています。色は毛色のカテゴリーに準じますが、他のすべての点が同等の場合のみ考慮されます。

顎：強く、肉付きがよく、鼻革と一直線になっている。

マズル：幅よりわずかに長く、明確なマズルブレイクがある。丸いwhiskerパッド。

Profile: 適度な方向転換、鼻梁のわずかな隆起は許容、顎は適度に丸みを帯びている。

首：短くて太い。

BODY:

胴体：ずんぐりとした中型の体。側面は深く、背は短く、肩から丸い臀部まで滑らかなアーチを形成している。体はバランスが崩れるほど短くなってはならない。

脚：骨格はがっしりとしていて、筋肉質です。前脚は短く、広い胸を強調するために広く離れています。後脚は前脚よりも高く、体の背面から前面にかけて角度をつけています。

足：丸型、中くらいのサイズ。

尾

尾なし:手のひらを背中から臀部にかけて撫でた際に、骨や軟骨が盛り上がりジャッジの手を止めない場合は減点なし。

尾：体長に比例し、肩から臀部までの長さが体長の2/3であることが理想的です。太さは骨の長さに比例します。先細りまたは鈍い先端も許容されます。

骨: しっかり～重い。

筋肉：筋肉質

COAT/COLOR:

長さ： (MX/MXT)：短いダブルコートですが、密着していません。
(CY/CYT)：中くらいの長さのダブルコート。

質感： (MX/MXT) 柔らかく厚みのあるアンダーコートは、しっかりとした毛並みを形成します。外側の毛並みは、毛色によって感触が異なります。季節による毛並みと質感の変化は許容されます。(CY/CYT)：柔らかく厚みのあるアンダーコートは、柔らかくシルキーな感触でありながら、ふっくらとしており、しっかりとした毛並みを形成します。毛色によって感触が異なります。季節による毛並みと質感の変化は許容されます。

Pattern: All.

色: すべて。白いボタンやロケットは許可されており、ペナルティの対象にはなりません

一般的説明: 全体的な外観は、中型で、コンパクトで、筋肉質な猫のそれであるべきです。マンクスとキムリックは、しっかりとしたマズルと突き出た頬を持つ丸い頭、短い前脚、高い後軀、深い脇腹を持ち、背中では肩から丸い臀部にかけて滑らかなアーチを形成し、腰が最も高い位置にあります。臀部は水平である場合があります。マンクスとキムリックは成長が遅く、脇腹の深さ、雄の stud jowls、および全体的な未成熟を判断する際には若い猫を考慮に入れなければなりません。マンクスとキムリックは尾がないように見えますが、尾のあるものは尾の存在を除いてすべての点で同じように見えます。尾のないマンクスとキムリックの臀部は、手のひらだけで触ることができます。尾のあるものは同様に扱い、尾を過度に扱わないでください。脇腹は他のどの品種よりも深く、短くてずんぐりとした外観を強調します。

ALLOWANCES : 季節によって毛の長さや質感が変わります。白いボタンやロケットは許容され、ペナルティの対象にはなりません。

PENALIZE: 目が頭部に対してまっすぐ横に並んでいる、または目が接近している。体が長く、背中が水平である。後肢が短く、骨格が細い。後肢は曲がっているか、内反膝である。MXT/CYT では尾が長く、または鞭状である。

すべての賞を差し控える(WW): 病気または健康状態不良。

失格 (DQ) : 先天性奇形。後肢の弱さにより、正しく立ったり歩いたりできない。

気質は挑発的であってはならない。明らかな挑発行為は失格となる。猫は恐怖を示したり、逃げようとしたり、大声で文句を言ったりすることはあっても、危害を加えると脅すようなことはあってはならない。シヨールール第 16 条に従い、以下の場合は強制失格とみなされます：噛む猫 (216.9)、欺く意図の証拠を示す猫 (216.10)、2 つの睪丸が下降していない成猫の雄猫 (216.11)、委員会が承認した標準で許可されている場合を除き、尾の全部または一部が欠損している猫 (216.12.1)、負傷の結果であることが証明されるか、委員会が承認した標準で許可されている場合を除き、前足に 5 本以上の指があり、後ろ足に 4 本の指がある猫 (216.12.2)、委員会が承認した標準で失格が求められる場合、尾の欠陥が見えるまたは見えない場合 (216.12.4)、委員会が承認した標準で失格が求められる場合、斜視 (216.12.5)、完全な失明 (216.12.6)、品種にそぐわない著しく小さいサイズ (216.12.9)、胸骨の陥没または異常に小さい胸郭自体の直径 (216.12.11.1)。罰則および失格に関するより包括的なルールについては、シヨールール第 16 条を参照のこと。

●MX/CY ーチャンピオンシップへの New Traits の申請 (2025 年度)

概要：

ルール委員会は、MX/CY Tailed をチャンピオンシップに昇格させるための New Traits 申請を審査しました。申請は規則 33.9.2 に定められたスタンダードをほぼ満たしていますが、ルール 33.9.2.3 (過去 3 年間に New Traits で登録された猫が 50 匹以上必要) については例外で、登録された猫はわずか 24 匹でした。品種委員会は、理事会に書簡を送り、New Trait で登録された猫が 50 匹以上という要件 (規則 33.9.2.3) の免除を求めました。理事会は、昇格を決定する前に遺伝委員会の助言を求めるとともに、規則 33.9.2.6 で義務付けられている MX/CY 品種グループの投票で肯定的な結果が得られたことを確認する必要があります。品種コード MXT (マックス尾猫) と CYT (キムリック尾猫) が提案されており、EO で適切であることが確認される必要があります。この種の過去の申請と同様に、理事会はまず、改訂されたスタンダード (2026 年 5 月 1 日発効) を承認するかどうかの投票を行う必要があります。承認された場合は、新たに追加された 2 つの品種をチャンピオンシップの地位に承認するための 2 回目の動議を提出する必要があります (これも 2026 年 5 月 1 日発効)。

ブリードスタンダードのコメント

ルール委員会は、バランスとコンディションのポイントを除いた上で、申請書に添付された当初の品種スタンダードを承認しました。その後、遺伝学委員会の要請により、品種委員会から改訂版の品種スタンダードが提出され、ルール委員会はこの改訂版に異議を唱えませんでした。

申請基準：

ルール委員会は TFMS にアクセスできないため、事務局が申請書内の登録情報を確認したものとみなします。委員会は、本申請における会員およびブリーダー情報の確認をしてくれた事務局長 (EO) に感謝いたします。最初の審査後、申請者から追加情報が提供され、33.9.2.2 のスタンダード (new Trait を積極的に繁殖または出陳している会員が最低 10 名いること) が満たされていることを確認しました。申請が唯一不足しているのは 33.9.2.3 です。この基準は、過去 3 年以内に new Trait を出陳する猫が最低 50 匹登録されている必要があります。最初の申請書には、そのような猫が 17 匹記載されています。その後、事務局長 (EO) から提供されたスプレッドシートには、33.9.2.3 の基準を満たす猫が合計 24 匹登録されていることが示されています。事務局長の記録によると、この品種グループには合計 3054 匹の猫が登録されています (MX 2115 匹、CY 939 匹)。

2025 Annual 報告書に対する遺伝学委員会のコメント

マックス：

遺伝委員会のメンバーは基準の変更を歓迎しており、マン島で発生した品種との交配によってカテゴリーII 自然種の地位が確固たるものになると考えています。また、マックスの交配においては尾のあるマックスが必ず出現することから、ショーに出陳することも承認します。マックスの T ボックス変異は劣性致死性であるため、尾のないマックスはすべて正常な遺伝子を持ち、正常な尾の長さの子猫を産むことができます。理想的には、尾のないマックスまたは短い尾のマックスは、ホモ接合型マックス変異胚の不完全な発育と再吸収を避けるために、正常な尾を持つマックスと交配するべきです。

SIBERIAN (SB)

The Siberian is a medium-large, semi-longhaired cat originating in Russia with traits most suited to its survival in a harsh outdoor environment. Muscular and powerfully built, the Siberian's distinctive head type, hefty body, and uniquely weatherproof triple coat qualities are important distinguishing characteristics from any other breed, and reflect their natural heritage.

HEAD	40 points
Shape.....	14
Ears.....	5
Eyes.....	5
Chin.....	3
Muzzle.....	8
Profile.....	3
Neck.....	2
BODY	35 points
Torso.....	10
Legs/Feet.....	8
Feet.....	3
Tail.....	5
Boning/Musculature.....	12
Musculature.....	6
COAT/COLOR	25 points
Length.....	5
Texture.....	15
Color/Pattern.....	5
Color.....	2
OTHER	10 points
Balance.....	5
Condition.....	3
Temperament.....	2

CATEGORY: Traditional and Pointed.

DIVISIONS: All

COLORS: Only dominant black-based (B/-) colors, including the result of sex-linked red allele (X^r). Non-dominant black-based (b/-, b^v-) modified colors, such as chocolate, lilac, cinnamon, fawn and caramel are not allowed.

Permitted tabby patterns – mackerel, spotted, classic and shaded.

PERMISSIBLE OUTCROSSES: None.

HEAD:

Shape: Mottled wedge of Medium-large size trapezoid-shaped wedge with rounded contours, low-set cheekbones, rounded muzzle and firm chin. Cheekbones are a key factor in the head shape of a Siberian. They are low set, broad and softly curved, connecting the muzzle to the outer edge of the ear and giving definition to the broad wedge-shaped head. In good proportion to the body. The head is broader at the top of the skull and narrows slightly to a full rounded muzzle. The cheekbones are neither high set nor prominent.

Ears: Medium large, Medium large, with a broad base, rounded, and with a slight forward tilt slightly forward. The ears should be They are set as much on the sides of the head as on top. Ideal position is one to one and one-half ear width apart. The hair over the back of the ear is short and thin. From the middle of the ear, the furnishings become longer and cover the base of the ear. Well furnished with lynx tipping allowable allowed.

Eyes: Large, almost round, with the outer corner angled

slightly towards the base of the ear. The eyes should be set broad oval, with the lower half curvature being more fully rounded than the top lid; set slightly oblique, more than one eye's width apart. There is no relationship between eye color and coat color/pattern. Blue eye color is mandatory in the Pointed category. In the Traditional category blue and odd-eye color is ONLY accepted in solid white or "with white" cats. Colors vary from orange to green.

Chin: The chin is Broad, well-rounded but not protruding and in line with the nose, or receding.

Muzzle: The muzzle is short in length, Moderately short, full and rounded, There is a slight muzzle curvature, but the transition between the side of the head and the muzzle is with a gentle and inconspicuous transition to the head. The lower jaw and chin are a substantial width and depth to complete the full rounded shape of the muzzle.

Profile: The top of the head is almost Shows a flat top that seamlessly transitions into the forehead and displays a subtle roundness at the brow without any significant doming. The gentle concave curvature of the wide nose bridge at eye level extends into a broad straight nose, with a slight nose curvature of a gentle slope from the forehead to the nose and a The nose may exhibit slight convex curvature before the tip, when viewed in profile, yet it does not take on the pronounced characteristics of a Roman nose.

Neck: Short, rounded, substantial and well-muscled; thickly muscular.

BODY:

Torso: The body is medium in length, and well-muscled with the back arched slightly higher than the shoulders, with a Medium-long in length, with characteristic barrel-shaped appearance. Firm, belly giving the sensation of solid and well-muscled, weight (which appears with age).

Legs and Feet: Legs are medium in length. The hindlegs are slightly longer than the front, and should have substantial boning, and muscular with substantially thick boning and strength.

Feet: The Feet are big and rounded, with with abundant toe tufts, desirable.

Tail: The tail is Medium in length, wide at the base, tapering slightly to a blunt tip and thickly furnished. The tail should be somewhat shorter than the length of the body.

Boning and Musculature: Boning is a substantial, musculature is strong.

Musculature: Substantial, powerful.

COAT/ COLOUR/ PATTERN:

Length: Semi-long. The undercoat is the shortest and softest layer closest to the body and is covered by a longer firmer topcoat. The longest part of a coat is the outermost protective guard hairs also known as "raincoat." The fur over the shoulders is shorter and blends into the longer coat on the body. The Winter coat exhibits This is a moderately long to longhaired cat with a triple coat. The hair on the shoulder blades and lower part of the chest being thick and slightly shorter. There should be an abundant ruff encircling the neck, cascading down the chest, and setting off the cat's head. Full britches and a bushy tail dress the backend. The summer coat can be distinctly shorter and less dense, but

~~triple texture must be present, setting off the head. There is a tight undercoat (in mature cats), thicker in cold weather. Allow for warm weather coats. The hair may thicken to contour the belly and britches, but a wavy coat is not characteristic.~~

~~**Texture:** Varies coarse to soft, varying according to color. This is the most important unique feature of the breed. The triple coat consists of an undercoat, awn hairs and guard hairs. The undercoat is plentiful, dense, and resilient. It is soft and has a somewhat springy texture, making the outer coat stand away from the body. The awn hair is straight and slightly longer. It covers the woolly down undercoat and provides a layer of protective insulation. The longer guard hairs cover the cat's back, flanks and upper side of the tail. These longer guard hairs have a noticeably coarser feel and add the topmost outer layer of water resistance for protecting the inner coat layers. The combination of these three layers gives the desired feel of a dense, resilient, and weatherproof coat.~~

~~**Color/Pattern:** ~~Clear~~ Sound color and patterns are desirable, but secondary to ~~type~~ texture. Any amount of white is allowed, with no preference or requirement for symmetry.~~

~~**Color:** All additional and pointed colors and combinations are accepted with or without white. White or off-white allowed on chin, breast and stomach of tabbies. Pointed Siberians must exhibit a contrast between the color of their points and the color of their body. CORIN coloration is a unique wide-band trait in the Siberian breed caused by a recessive variant in the CORIN gene, which influences the activity of the agouti signaling protein (ASIP) gene, which can be expressed in both silver and non-silver cats. CORIN goldens exhibit a warm undercoat tone, lightening of the tabby marks, and enlarged off-white area around the nose that extends to the chest, eumelanin colored paw pads, and a pink nose lacking the eumelanin outline usually observed in tabby cats. CORIN silvers exhibit a "bimetallic" coloration, where the cat exhibits silver tabby hairs, most prominently on the back of the cat, but also displays pheomelanin expressing hairs, most commonly on the legs and belly. All patterns of CORIN tabby are possible in all basic eumelanistic colors, including torties. ~~white allowed in most areas. Strong colors are desirable, but secondary to type.~~~~

~~OTHER:~~

~~**Balance:** Well-proportioned.~~

~~**Condition:** Excellent health in good overall condition.~~

~~**Temperament:** Must be unchallenging.~~

GENERAL DESCRIPTION: The Siberian is a medium-large cat with the overall appearance of excellent physical condition, strength and power, and dense weatherproof coat. The Siberian should be well-balanced with all body parts in proportion to each other, reflect excellent health and robust power with good muscle tone, and be amenable to handling, modified by a sweet facial expression. ~~The general~~ The overall aesthetic impression of the head is of pleasingly rounded shapes and softly rounded contours; repeated from the tips of the ears, the shape of the eyes and the full rounded muzzle, and extending onward through the barrel-shaped body to the large well-rounded paws. ~~of the body is one of circles and roundness.~~ Siberians are slow developing breed, reaching full maturity, strength, and well-developed musculature between the ages of three and five years old. Males are notably larger than females.

to mature, taking as long as 5 years to reach full maturity. Females are considerably smaller than males, and ~~allowance should be made when comparing females and young cats to the standard.~~ Size is secondary to type.

LOCKETS: White buttons, spots, and lockets are allowed in all colors.

~~**ALLOWANCES:** ~~Because~~ The Siberian is a slow maturing breed, taking an average of three to five years to reach full structure and glorious coat. Coat coincides with age, development, and important seasonal patterns. ~~coat and physical structure should be taken into~~ ~~into~~ ~~Consideration should be given to~~ ~~when~~ ~~judging~~ kittens and young adults, as well as seasonal variation in coat length and density with mature adults. ~~Buttons, spots, and lockets (moved to LOCKETS)~~~~

PENALIZE:

Head: Straight profile or very deep profile curve; narrow, pinched, long or foxy muzzle.

Body: Tail too long or too short, long tail, delicate boning, nonmuscular; long body, almond-shaped eyes; very long legs, narrow chest, unhealthy weight; too heavy or too slight.

Coat: Exceptionally soft and fine guard hairs on adult cats; flat, draping, silky coats on the body; exaggerated undercoat; lacking triple coat.

WITHHOLD ALL AWARDS: Evidence of illness, poor health, emaciation, ~~visible tail fault.~~

Head: High set cheek bones in fully grown adults; exaggerated stop or break in profile; blue or odd eye color in coat colors other than solid white or with white in Traditional category.

Body: Very slight or delicate boning, build and musculature.

Coat: Non-permissible colors; absence of guard hairs in adults.

DISQUALIFY: Visible tail fault.

Temperament must be unchallenging; any sign of definite challenge shall disqualify. The cat may exhibit fear, seek to flee, or generally complain aloud but may not threaten to harm. In accordance with Show Rules, ARTICLE SIXTEEN, the following shall be considered mandatory disqualifications: a cat that bites (216.8), a cat showing evidence of intent to deceive (216.10), adult whole male cats not having two descended testicles (216.11), cats with all or part of the tail missing, except as authorized by a Board approved standard (216.12.7), cats with more than five toes on each front foot and four toes on each back foot, unless proved the result of an injury or as authorized by a Board approved standard (216.12.2), visible or invisible tail faults if Board approved standard requires disqualification (216.12.4), crossed eyes if Board approved standard requires disqualification (216.12.5), total blindness (216.12.6), markedly smaller size, not in keeping with the breed (216.12.9), and depression of the sternum or unusually small diameter of the rib cage itself (216.12.11.1). See Show Rules, ARTICLE SIXTEEN for more comprehensive rules governing penalties and disqualifications.

Siberian Breed Standard, 05/01/2005 04/24/2025

SIBERIAN

The Siberian is a medium-large, semi-longhaired cat originating in Russia with traits most suited to its survival in a harsh outdoor environment. Muscular and powerfully built, the Siberian's distinctive head type, hefty body, and uniquely weatherproof triple coat qualities are important distinguishing characteristics from any other breed, and reflect their natural heritage.

HEAD	40 points
Shape	14
Ears	5
Eyes	5
Chin.....	3
Muzzle.....	8
Profile	3
Neck	2
BODY	35 points
Torso.....	10
Legs/Feet.....	8
Tail.....	5
Boning/Musculature.....	12
COAT/COLOR	25 points
Length.....	5
Texture.....	15
Color/Pattern.....	5

CATEGORY: Traditional and Pointed.

DIVISIONS: All.

COLORS: Allow only dominant black-based (B/-) colors, including the result of sex-linked red allele (Xo).

Non-dominant black-based (b/-, b1/-) modified colors, such as chocolate, lilac, cinnamon, fawn and caramel are not allowed.

Permitted tabby patterns – mackerel, spotted, classic and shaded.

PERMISSIBLE OUTCROSSES: None.

HEAD:

Shape: Medium/large trapezoid-shaped wedge with rounded contours, low-set cheekbones, rounded muzzle and firm chin. Cheekbones are a key factor in the head shape of a Siberian. They are low set, broad and softly curved, connecting the muzzle to the outer edge of the ear and giving definition to the broad wedge-shaped head.

Ears: Medium large, with a broad base, rounded, and with a slight forward tilt. They are set as much on the sides of the head as on the top. Well furnished with lynx tipping allowed.

Eyes: Large, broad oval, with the lower half curvature being more fully rounded than the top lid; set slightly oblique, more than one eye's width apart. Blue eye color is mandatory in the Pointed category. In the Traditional category blue and odd-eye color is ONLY accepted in solid white or "with white" cats. Colors vary from orange to green.

Chin: Broad, well-rounded but not protruding or receding.

Muzzle: Moderately short, full and rounded, with a gentle and inconspicuous transition to the head. The lower jaw and chin are a substantial width and depth to complete the full rounded shape of the muzzle.

Profile: Shows a flat top that seamlessly transitions into the forehead and displays a subtle roundness at the brow without any significant doming. The gentle concave curvature of the wide nose bridge at eye level extends into a broad straight nose. The nose may exhibit slight convex curvature near the tip, yet it does not take on the pronounced characteristics of a Roman nose.

Neck: Short, rounded, substantial and thickly muscular.

BODY:

Torso: Medium-long in length, with characteristic barrel-shaped appearance. Firm, solid and well-muscled.

Legs and Feet: Legs are medium length and muscular with substantially thick boning and strength. Feet are big and rounded with abundant toe tufts.

Tail: Medium in length, wide at the base, tapering slightly to a blunt tip and thickly furnished. Tail should be somewhat shorter than the length of the body.

Boning and Musculature: Boning is substantial. Musculature is strong.

COAT/ COLOR/ PATTERN:

Length: Semi-long. The undercoat is the shortest and softest layer closest to the body and is covered by a longer firmer topcoat. The longest part of a coat is the outermost protective guard hairs also known as "raincoat." The fur over the shoulders is shorter and blends into the longer coat on the body. The Winter coat exhibits abundant ruff encircling the neck, cascading down the chest, and setting off the cat's head. Full britches and a bushy tail dress the backend. The summer coat can be distinctly shorter and less dense, but triple texture must be present.

Texture: This is the most important unique feature of the breed. The triple coat consists of an undercoat, awn hairs and guard hairs. The undercoat is plentiful, dense, and resilient. It is soft and has a somewhat springy texture, making the outer coat stand away from the body. The awn hair is straight and slightly longer. It covers the woolly down undercoat and provides a layer of protective

insulation. The longer guard hairs cover the cat's back, flanks and upper side of the tail. These longer guard hairs have a noticeably coarser feel and add the topmost outer layer of water resistance for protecting the inner coat layers. The combination of these three layers gives the desired feel of a dense, resilient, and weatherproof coat.

Color/Pattern: Sound color and patterns are desirable, but secondary to texture. Any amount of white is allowed, with no preference or requirement for symmetry; off-white allowed on chin, breast and stomach of tabbies. Pointed Siberians must exhibit a contrast between the color of their points and the color of their body. CORIN coloration is a unique wide-band trait in the Siberian breed caused by a recessive variant in the CORIN gene, which influences the activity of the agouti signaling protein (ASIP) gene, which can be expressed in both silver and non-silver cats. CORIN goldens exhibit a warm undercoat tone, lightening of the tabby marks, and enlarged off-white area around the nose that extends to the chest, eumelanin colored paw pads, and a pink nose lacking the eumelanin outline usually observed in tabby cats. CORIN silvers exhibit a "bimetallic" coloration, where the cat exhibits silver tabby hairs, most prominently on the back of the cat, but also displays pheomelanin expressing hairs, most commonly on the legs and belly. All patterns of CORIN tabby are possible in all basic eumelanistic colors, including torbies.

GENERAL DESCRIPTION: The Siberian is a medium-large cat with the overall appearance of excellent physical condition, strength and power, and dense weatherproof coat. The Siberian should be well-balanced with all body parts in proportion to each other, reflect excellent health and robust power with good muscle tone, and be amenable to handling. The overall aesthetic impression of the head is of pleasingly rounded shapes and softly rounded contours; repeated from the tips of the ears, the shape of the eyes and the full rounded muzzle, and extending onward through the barrel-shaped body to the large well-rounded paws. Siberians are a slow developing breed, reaching full maturity, strength, and well-developed musculature between the ages of three and five years old. Males are notably larger than females. Size is secondary to type.

LOCKETS: White buttons, spots, and lockets are allowed in all colors.

ALLOWANCES: The Siberian is a slow maturing breed, taking an average of three to five years to reach full structure and glorious coat. Coat coincides with age, development, and important seasonal patterns. Consideration should be given to

kittens and young adults, as well as seasonal variation in coat length and density with mature adults.

PENALIZE:

Head: Straight profile or very deep profile curve; narrow, pinched, long or foxy muzzle.

Body: Tail too long or too short, long body, long legs, narrow chest, unhealthy weight: too heavy or too slight.

Coat: Exceptionally soft and fine guard hairs on adult cats; flat, draping, silky coats on the body; exaggerated undercoat; lacking triple coat.

WITHHOLD ALL AWARDS: Evidence of illness, poor health, emaciation.

Head: High set cheek bones in fully grown adults; exaggerated stop or break in profile; blue or odd eye color in coat colors other than solid white or with white in Traditional category.

Body: Very slight or delicate boning, build and musculature.

Coat: Non-permissible colors; absence of guard hairs in adults.

DISQUALIFY: Visible tail fault.

Temperament must be unchallenging; any sign of definite challenge shall disqualify. The cat may exhibit fear, seek to flee, or generally complain aloud but may not threaten to harm. In accordance with Show Rules, ARTICLE SIXTEEN, the following shall be considered mandatory disqualifications: a cat that bites (216.9), a cat showing evidence of intent to deceive (216.10), adult whole male cats not having two descended testicles (216.11), cats with all or part of the tail missing, except as authorized by a Board approved standard (216.12.1), cats with more than five toes on each front foot and four toes on each back foot, unless proved the result of an injury or as authorized by a Board approved standard (216.12.2), visible or invisible tail faults if Board approved standard requires disqualification (216.12.4), crossed eyes if Board approved standard requires disqualification (216.12.5), total blindness (216.12.6), markedly smaller size, not in keeping with the breed (216.12.9), and depression of the sternum or unusually small diameter of the rib cage itself (216.12.11.1). See Show Rules, ARTICLE SIXTEEN for more comprehensive rules governing penalties and disqualifications.

Please review the revised proposed 2025 Siberian (SB) Breed Standard Changes linked below before voting;

Introduction:

<https://links.tica.org/2025/SB-May/Introduction.pdf>

Rationale:

<https://links.tica.org/2025/SB-May/Rationale.pdf>

Detailed Revisions:

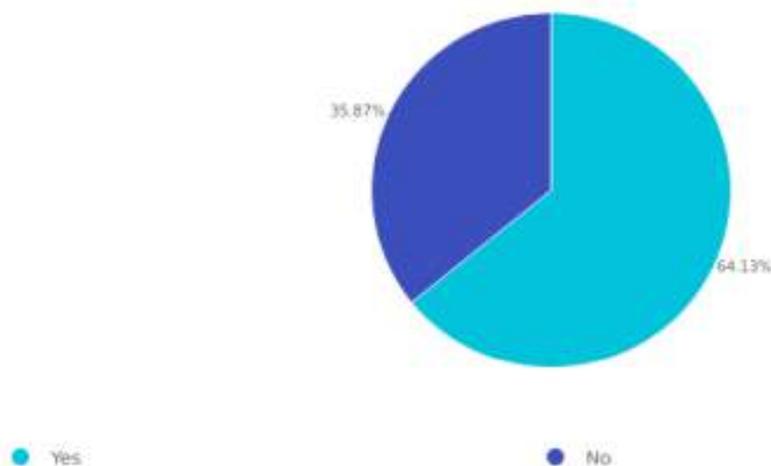
https://links.tica.org/2025/SB-May/Detailed_Revisions.pdf

Proposed Standard:

https://links.tica.org/2025/SB-May/Proposed_Standard.pdf

Do you approve the **above-linked** changes to the standard?

Answered: 92 Skipped: 1



Choices	Response percent	Response count
Yes	64.13%	59
No	35.87%	33

●SB および HHP スタンダードの変更に関するルール委員会のコメント

概要：

ルール委員会は、サイベリアンと HHP の両方のスタンダード変更を検討しました。

両方の提出物が承認され、それぞれの品種セクションに提出されて投票が行われました。

SB 部門は変更を承認した（賛成 64%、反対 34%、投票数 92）

HHP 部門は変更を承認した（賛成 96.6%、反対 3.39%、投票数 59）

Siberian Breed Standard

ブリードセクションのメンバーからの要望により、前回提出されたものから若干修正された。

- ・Copper の目の色は望ましくないため削除されました
- ・ MC と PS の texture は W/W からペナルティに変更されました。

HHP Breed Standard

スタンダードの主要な改訂点の一つは、第 16 条の失格規定の記述を書き換え、HHP には適用されない規定を削除したことで、これにより HHP の必須失格規定に関する誤解が解消されます

一般的に、TICA は状態とバランスにポイントを割り当てる品種スタンダードを推奨していますが、HHP については例外が適切です。

● 2025 Annual 報告書に対する遺伝学委員会のコメント

Siberian:

Spring Meeting で、これらの変更の大部分について検討しました。その際に推奨された変更点がいくつかありましたが、ここでそれらに対応しています。全体として、以前の標準を大幅に明確化し、より明確で正確なものになりました。素晴らしい仕事でした

HOUSEHOLD PET (HH)

Beauty 20 points

Personality 30 points

Condition 50 points

Coat 20 points

Eyes, Ears, Nose, Mouth, and Claws . . . 15 points

Balance and Proportion 15 points

COLOR DIVISIONS All categories, all divisions, all colors.

概要：HHP には、想像し得る限りのあらゆる毛色と色の組み合わせがあります。毛の長さは、短く滑らかなもの、ふさふさしたもの、それらの組み合わせ、あるいはその中間のものなど様々です。尻尾は長くても短くても縮れていたり、あるいは全くなかったりします。目の色は、母なる自然の気まぐれに応じて、毛色とほぼあらゆる形で調和させることができます。毛色、目の色、そして毛色と尻尾の長さは、どのようなものでも許容されます。HHP にとって最も重要なのは、その全体的な状態と幸福です。理想的な HHP は、清潔で、栄養状態が良く、成猫であれば去勢・避妊・去勢手術を受けている猫です。猫の笑顔は、健康と満足感に満ち溢れているように見えます。

美しさ；これらのポイントは、審査員の好みに応じて付与されます。多くのジャッジは、美しい模様、色彩、そしてパターンに注目します。全体的な優美さとバランスは、美しさを判断する上でしばしば考慮される要素です。家庭で飼われているペットにおいては、美しさは見る人の目によって大きく左右されます。

性格：HHP は、警戒心が強く、友好的で、扱いやすいことが求められます。ショーに慣れていないため、多少の緊張は許容されます。ハンドラーによってケージから出さなければならない猫が、その後ジャッジによるハンドリングに全く抵抗がない場合は、ペナルティは課されません。

状態：

被毛：被毛は完全に清潔で、もつれや寄生虫の痕跡が一切ないこと。猫はよく手入れされている必要があります。被毛は見た目も手触りも良好である必要があります。より良いグルーミングと、より幸せで健康な仲間となるためのトリミングは、猫がその他の健康状態が良好である限り、減点の対象とはなりません。目、耳、鼻、口、爪：清潔でなければなりません。目と鼻には異物があってはなりません。耳の審査は、保護猫の多くが過去に耳の問題を抱えているため、猫に負担をかけない程度に簡略化して行う必要があります。審査員による厳密な検

査は、猫を傷つけたり、動揺させたりすることがあります。爪は必ず切断する必要がありますが、苦痛を与えない方法で検査する必要があります。

理由：保護猫はショーへの参加を頻繁に依頼されており、当団体には定期的に保護猫を展示している常連の猫が多数います。その他の健康状態が良好な動物は、「再開」が必要だったとしても減点の対象とはなりません。

バランスとプロポーション：猫は全体的にバランスが取れている必要があります。そのため、大きな猫に小さな頭、あるいはその逆は、やや不釣り合いです。また、猫は体の大きさに見合った体重であるべきです。太りすぎも痩せすぎも望ましくありません。筋肉の緊張は良好である必要があります。高齢のペットを飼っている場合は、ある程度の配慮が必要です。

根拠：HHP は様々な国から来ているため、体型はそれぞれ異なります。さらに、血統書付きスタンダードにおいても、体型のバランスが崩れていることが求められる品種があります。さらに、成猫のHHP はすべて去勢・避妊手術を受けているため、「去勢済み」とだけ言うのは誤りです。

SEXUAL STATUS: (性的状況) 成猫のHHP (8ヶ月以上) は避妊去勢手術を受けなければなりません

理由：実際のプロセスと慣行を反映していないため、この記述は削除すべきです。多くのHHP は子猫で避妊・去勢されていない状態で登録されています。また、EO は、元の紙の申請書に記載された日付以外に避妊・去勢の証明を要求したことは一度もありません。しかし、避妊・去勢されていない成猫のHHP は登録できません。オス猫の場合は明らかであり、メス猫の場合は日常的に明らかになるでしょう。

長毛種と短毛種の定義：エントリーの適切なクラスについて疑問が生じた場合は、尾の毛の長さが決定要因となります。毛の長さが1.5インチ(約3.7cm)以上でふわふわしている場合は長毛種とみなされます(若い子猫の場合は、毛の長さが若干短くなる場合があります)。それでもなお疑問がある場合は、耳や足の毛束の長さなど、細部に注意してください。

血統書付きHHP：血統書付きの純血種と見做されるHHP は、他のすべてのHHP と全く同じ基準で審査されます。公認品種との類似性のみを理由に、減点や優遇措置を受けることはありません。理由：地球上に「純血種」は存在しません。理想的には、すべての資料をこの基準で更新する必要があります。

考慮事項：ほとんどの血統書付き純血種の基準で認められていない身体的異常は、HHP では許容されるものとします。斜視、尾の曲がり、余分な指などにはペナルティを課さないものとします。HHP の多くは保護された野良猫であるため、耳や目の裂け目または欠損、欠損またはその他の部分、失明、断尾など、これらに限定されない身体的損傷にペナルティを課さないものとします。ただし、問題が継続的なものであり、ケアと生活の質の欠如を示している場合は除きます。根拠：第16条をこの基準に組み込む方法の変更に伴い、このクラスの猫が「完全」ではないことは珍しくないという事実をより明確にしたいと考えていますが、だからといって素晴らしい仲間であることに変わりはありません。

子猫：子猫は、毛の長さのクラス内では毛色クラスに関係なく、単一のグループとして審査されます。つまり、長毛種の子猫は1つのグループとして審査され、短毛種の子猫も1つのグループとして審査されます。子猫は部門賞の対象となりません。理由：現在の記述では、この記述は矛盾しています。

賞授与を保留する(WW): 明らかに汚れている、または状態が悪い猫には賞品を授与しないでください。気質は挑発的であってはならないもので、明らかな挑発行為は失格となります。猫は恐怖を示したり、逃げようとしたり、大声で不満を言ったりすることはあっても、危害を加えると脅すような行動は認められません。

現在 – HHP スタンダードには、血統猫スタンダードと同じ第 16 条が含まれています。このセクションの多くの部分は適用されず、HHP における保留とみなされるものについて審査員の間で誤解を招いた可能性があります。参考までに、今日の挿入文を以下に示します。ショールール第 16 条に従い、次の猫は強制失格とみなされます。噛む猫 (216.9)、欺く意図の証拠を示す猫 (216.10)、2 つの睪丸が下降していない成猫の雄猫 (216.11)、委員会が承認した標準で許可されている場合を除き、尾の全部または一部が欠損している猫 (216.12.1)、負傷の結果であることが証明されるか、委員会が承認したスタンダードで許可されている場合を除き、前足に 5 本以上の指があり、後ろ足に 4 本以上の指がある猫 (216.12.2)、委員会が承認したスタンダードで失格が要求される場合、尾の欠陥が見えるまたは見えない場合 (216.12.4)、委員会が承認したスタンダードで失格が要求される場合、斜視の場合 (216.12.5)、完全に失明している場合 (216.12.6)、品種にそぐわない、著しく小さいサイズの場合(216.12.9)、胸骨の陥没、または胸郭自体の直径が異常に小さいこと (216.12.11.1) が挙げられる。

2024 年 4 月のショーで発生した事件を受け、審査委員会のメンバーから委員長に連絡があり、この問題への対応について問い合わせがありました。以下は、第 16 条の改訂版掲載案です。原文の一部は削除済みであるため、ここにはそのまま残しています。ハイライト表示 (TICA ・HP オリジナルを参照) されている部分は追加案で、1 つ誤植が見つかりました。以下は、HHP 委員会が掲載を希望する内容です。

216.12 審査で発見される多くの異常は、品種特有のものではなく、すべての猫に見られるのです。責任ある繁殖は、品種の保存と健康維持を目的としており、これらの異常の軽減または排除に重点を置きます。HHP はこの規則の対象外です。ただし、ショールール第 16 条に基づき、以下の場合は強制的に失格となります：噛みついた猫 (216.9)、欺く意図を示す猫 (216.10)、~~成猫の雄で、睪丸が 2 つ下降していない完全な体型の猫(216.11)、尾の全部または一部が欠損している猫(委員会が承認した基準で許可されている場合を除く)(216.12.1)、前足の指が 5 本以上、後ろ足の指が 4 本以上の猫(負傷の結果であると証明された場合、または委員会が承認した基準で許可されている場合を除く)(216.12.2)、委員会が承認した基準で失格とする場合の、尾の欠陥が目に見えるか見えないか(216.12.4)、委員会が承認した基準で失格とする場合の斜視(216.12.5)、完全に失明している猫(216.12.6)、品種にふさわしくないほど著しく小さい猫(216.12.9)、胸骨が陥没しているか、胸郭自体の直径が異常に小さい猫(216.12.11.1)。~~
さらに、216.4.1 はすべてのクラスに適用されます。審査員は、登録規則第 3 条に規定されている場合を除き、リングに展示されたすべての猫をハンドリングし、身体検査しなければなりません。審査員によるハンドリングおよび身体検査が行われていない猫には、賞を授与することはできません。ペナルティおよび失格に関するより包括的な規則については、ショールール第 16 条を参照してください。

HOUSEHOLD PET (HH)	
Beauty	20 points
Personality	30 points
Condition	50 points
Coat	20 points
Eyes, Ears, Nose, Mouth, and Claws	15 points
Balance and Proportion	15 points
COLOR DIVISIONS All categories, all divisions, all colors.	

概要：HHP は、想像し得る限りのあらゆる毛色と色の組み合わせで存在します。被毛の長さは、短く滑らか、ふわふわ、それらの組み合わせ、あるいはその中間の毛色です。尻尾は長くても短くても縮れても、あるいは全くなくても構いません。目の色は、母なる自然の気まぐれに応じて、被毛の色とほぼあらゆる形で調和させることができます。被毛と目の色、そして被毛と尻尾の長さは、どのようなものでも許容されます。HHP にとって最も重要な

は、その全体的な状態と健康です。理想的な HHP は、清潔で、栄養状態が良く、成猫であれば去勢・避妊手術を受けている猫です。猫は健康で満足感に満ち溢れているように見える

美しさ：これらのポイントは、個々の審査員の好みに応じて付与されます。多くの審査員は、美しい模様、色、模様注目します。全体的な優雅さとバランスは、美しさを判断する上でしばしば考慮される要素です。HHP において、美しさは見る人の目によって決まります。

性格：HHP は、警戒心が強く、友好的で、扱いやすいことが求められます。ショーに慣れていないため、多少の緊張は許容されます。ハンドラーによってケージから出さなければならない猫が、その後審査員によるハンドリングに全く抵抗がない場合は、ペナルティは課されません。

状態:

毛：毛は絶対に清潔で、もつれや寄生虫の痕跡が一切ないこと。猫はよく手入れされている必要がある。毛は見た目も感触も気持ち良いものでなければならない。より手入れが行き届いて、より幸せで健康な仲間となるために毛を刈ったとしても、猫がその他の点で健康/コンディションが良好である限り、減点されるべきではない。目、耳、鼻、口、爪：清潔でなければならない。目と鼻には異物があってはならない。耳は、保護された猫のほとんどが過去に耳の問題を抱えていたため、猫を驚かさずに簡単に審査されるべきであり、審査員による徹底的な検査は猫を傷つけたり動揺させたりする傾向がある。爪は刈らなければならないが、苦痛を与えないような方法で検査されるべきである。

バランスとプロポーション：猫は体の大きさに対して適切な体重であるべきです。太りすぎも痩せすぎも望ましくありません。筋肉の緊張は良好である必要があります。高齢の HHP の場合は、多少の配慮が認められる場合があります。

SEXUAL STATUS: (性的状況)：成猫の HHP (8 ヶ月以上) は避妊去勢手術を受けなければならない

長毛種と短毛種の定義：エントリーの適切なクラスについて疑問が生じた場合は、尾の毛の長さが決定要因となります。毛の長さが 1.5 インチ (約 3.7cm) 以上でふわふわしている場合は長毛種とみなされます (若い子猫の場合は、毛の長さが若干短くなる場合があります)。それでもなお疑問がある場合は、耳や足の毛束の長さなど、細部に注意してください。

血統書付き HHP：血統書付き HHP は、他のすべての HHP と全く同じ基準で審査されます。公認品種との類似性のみを理由に、減点や優遇措置を受けることはありません。

考慮事項：ほとんどの血統書スタンダードで認められていない身体的異常も、HHP としては許容されます。斜視、尾の曲がり、余分な足指などについては、ペナルティは適用されません。HHP の多くは保護された野良犬であるため、耳、目、その他の部位の裂傷または欠損、失明、断尾など、これらに限定されない身体的損傷については、ペナルティは適用されません。ただし、問題が継続的なものであり、ケアや生活の質の欠如を示している場合は除きます。

KITTENS：子猫は、毛の長さのクラス内では毛色クラスに関係なく、一つのグループとして審査されます。つまり、長毛種の子猫は一つのグループとして審査され、短毛種の子猫も一つのグループとして審査されます。子猫は部門賞を授与されません。

賞を保留する(WW)：明らかに汚れている、または状態が悪い猫には賞品を授与しないでください。気質は挑発的であってはならないもので、明らかな挑発行為は失格となります。猫は恐怖を示したり、逃げようとしたり、大声で不満を言ったりすることはあっても、危害を加えると脅すような行動は認められません。

216.12 審査で発見される異常の多くは、品種特有のものではなく、すべての猫に見られるものです。責任ある繁殖は、品種の健康を維持しながら品種を保護することを目指しており、これはこれらの異常を軽減または排除することに重点を置くことを意味します。HHPはこのルールの対象外です。ただし、ショールール第16条に従い、以下の場合には強制的に失格となります：噛みついた猫 (216.9)、欺く意図の証拠を示す猫 (216.10)。さらに、216.4.1 はすべてのクラスに適用されます。ジャッジは、登録ルール第3条に規定されている場合を除き、リングに示されたすべての猫を扱い、身体検査しなければなりません。ジャッジによる取り扱いおよび身体検査が行われていない猫に賞を与えることはできません。罰則と失格に関するより包括的なルールについては、ショールール第16条を参照してください。

Please review the revised proposed 2025 Household Pet (HHP) Breed Standard Changes linked below before voting;

Introduction:
<https://links.tica.org/2025/HHP/1-Introduction.pdf>

Detailed Revisions:
https://links.tica.org/2025/HHP/2-Proposed_Revisions.pdf

Proposed Standard:
https://links.tica.org/2025/HHP/3-Proposed_Standard.pdf

Do you approve the **above-linked** changes to the standard?

Answered: 59 Skipped: 1



Choices	Response percent	Response count
Yes	96.61%	57
No	3.39%	2

サイベリアンとHHPのスタンダード変更に関するルール委員会のコメント

概要：

ルール委員会は、サイベリアンとHHPのスタンダード変更について検討しました。

両方の提案が承認され、それぞれの品種部門に投票のために提出されました。

SB部門は変更を承認しました（賛成64%、反対34%、投票数92）。

HHP部門は変更を承認した（賛成96.6%、反対3.39%、投票数59）

Siberian Breed Standard

ブリードセクションのメンバーからの要望により、前回提出された物から若干の修正が行われた。

- ・ Copperの目の色は望ましくないため削除されました。

- ・ MCとPSの毛質はW/Wからペナルティに変更されました。

HHP Breed Standard

スタンダードの主要な改訂点の一つは、第16条の失格規定の記述を書き換え、HHPには適用されない規定を削除したことです。これにより、HHPの必須失格規定に関する誤解が解消されます。

TICAは一般的に、コンディションとバランスにポイントを配分する品種基準を推奨していませんが、HHPについては例外が認められています。

2025 Annual HHP規格変更に関する遺伝学委員会のコメント

HHPスタンダード変更：遺伝学委員会にとって、これは好ましい内容です。

品種報告書に関するルール委員会のコメント – Annual 2025 報告書

1. 問題点

TICA の規則には、品種報告書に必要な情報に関するガイドラインが定められていません。ブリーダー数や TICA 地域における分布といった重要な情報がなければ、品種が次の段階に向けてどのように進歩しているかを評価することは困難です。

2. PNB 報告書：PNB ステータスにある品種は存在しません。

3. ANB レポート: 33.7.4.3 に基づき、各 ANB 品種は、会議の 60 日前までに、品種の状況に関するレポートをルール委員会、遺伝学委員会、および事務局に提出する必要があります

以下の品種が報告を提供しました:

- Serengeti (SE)
- Toybob (TB/TBL)

Serengeti

報告書は付録 A を参照

委員会は、現在この品種に関わっている猫の数とブリーダーの数が比較的少ないことに留意しました。委員の中には、インターネット上の情報不足がこの品種に悪影響を与えているのではないかと感じている人もいました。例えば、

- ・ TICA サイトにはセレンゲティの写真が 1 枚しかありません。ダウンロード可能な品種紹介は 2018 年のものであり、TICA 品種ページを適切に入力する必要があります。
- セレンゲティ猫をグーグルで検索すると、Wikipedia に素敵な写真が 1 枚見つかります。残りはベンガル猫の写真のようで、サーバル猫の写真もいくつか出てきます
- この品種専用のウェブサイトはありません (Toybobs を検索すると Toybob クラブが表示されますがこれとは異なります)。

最初のステップとして、規則委員会は、ワーキング グループが TICA Web サイトの既存の品種ページを確認し、他の確立された犬種と比較して、何を追加できるかを確認し、その後 TICA ウェブマスターと協力してさらに情報を追加することを推奨しています。

- ・ Toybob See Appendix B

4 つの新しいチャンピオンシップ Breed

●今年、2015 年 8 月 33 日と 2016 年 8 月 33 日に義務付けられたテネシーレックス (2024 年 5 月 1 日よりチャンピオンシップに昇格) の年次報告 3 回のうち最初の年となる

●ハイランダーグループは 2025 年 5 月 1 日よりチャンピオンシップに昇格したため、33.8.15 および 33.8.16 に基づく報告書は今回の会合では提出不要です。

l.

2024 年の年次会合では、新しいラグドール/ケルビム・グループに対し、規則 33.8.15 および 33.8.16 に基づき、3 年間の年次報告書の提出が求められました。最初の報告書は 2026 年の年次会合で提出が義務付けられます。

テネシー・レックス

最初の年次報告書は付録 C に添付されています。

Appendix A: Serengeti

TO: TICA BOARD

FROM: JO-ANN LAPOINTE, SERENGETI BREED CHAIR

SUBJECT: ANNUAL SERENGETI BREED REPORT FOR TICA YEAR 2024-2025

This year there has unfortunately been a slight decline in births due to a lot of changes in the Serengeti communities due to catteries closing and current catteries bringing in new kittens to diversify their genetics, including me.

In 2023 there were 12 individuals registered

In 2024 there were 13 individuals registered and we do see a decline in 2025 with a count of only 6 registered as of today , I would like to note though that I do have a litter of 6 to be registered and another litter on the way which will bring up the number of individuals registered in TICA.

In the 2024-2025 Show season, 4 individual Serengeti's from my cattery were actively shown in the NE region, all with excellent comments about their evolution from the judges.

In 2024-2025 we still only have 2 breeders registered as Serengeti breeders in Tica although there are more or less between 8 to 10 other breeders around the world that I have strongly urged to register their cattery as Serengeti breeders to help bring the numbers up

I am staying in touch with current and future breeders thru several active Facebook pages where we discuss and share information about the breed and its development I also actively share knowledge and pictures on other social media pages to spark interest in buyers, future interested breeders and encourage pet owners to show their Serengeti's in Tica shows.

The Serengeti is presently approved for registration in Chat Canada Cats, and I am still working with several other breeders to have them approved into the Canadian Cat Association

I fully intend on being actively involved to advance the evolution of this breed in Tica and i would like to see TICA more involved in promoting ANB's on their social media and Facebook page. I think that it would greatly help to get the breed known if Tica was more actively involved in showcasing their new and evolving breeds.

Thank you for your continuing support

Jo-Ann Lapointe, Serengeti Breed Chair

Appendix B; Toybob Breed Group (TB/TBL)

Toybob Breed Group (TB/TBL)

Status of Toybob Working ANB for the 2025 Annual Board Meeting

July 7, 2025

To:

TICA Board of Directors

Rules Committee

Genetics Committee

TICA Executive Office

Dear Board Members,

I am writing to update you on the ANB Toybob Working Group for the 2025 Annual Board Meeting. Firstly, I would like to express my gratitude to the Board for granting us ANB status at the Winter Meeting in May 2025.

Since my appointment to this position in January 2024 as the Working Breed Chair, I have been diligently working to persuade previous Toybob breeders who were active TICA members, including those who were previous ANB applicants, as well as organizing new breeders who have joined the Breed Group. Our ANB application demonstrated that we had included several Russian and European breeders who returned as TICA members. More importantly, the divisions that previously existed within the Breed Group have been resolved. Moving forward, we will collaborate closely and be guided by the breed's founder, Ms. Elena Krasnichenko.

While the breed group was satisfied with most of the standard updates approved at the 2024 annual meeting, we are currently in communication with the head of the Genetics Committee regarding guidance for reinstating the previous outcross policy. We look forward to the next year showing cats that align with what we, as breeders, are working towards.

On June 9, 2025, the TICA Executive Office provided the following information:

- 21 Unique Cats Registered since January 2025 (34 unique cats registered in 2024, up from 16 total unique cats registered in 2023)
- 8 new Breed Section Members since 2024
- 19 litters registered since January 2025
- 9 cats shown during the 2024-2025 season, in 5 different regions

Thank you for your time and consideration.

Sincerely,

Rachel Zimmer

Toybob Working Group Chair

Appendix C: Tennessee Rex:

2024-2025 annual report Tennessee Rex cats

It was a very exciting first year of showing for the Tennessee Rex cats , both the TR and TRS. We met all our requirements of probation by the first week of December , and then exceeded them !

Cats were shown in 7 regions. 34 cats were shown comprising 92 entries in shows this year. 14 cats earned titles this season. We earned a total of 29 titles from Champions to Supreme Grands! We have earned titles on a range of colors as well, not just the reds, but also Blue tortie, solid black, black tortie, Black smoke tortie, Bicolors, Fawn tortie, etc...

Registrations continue to hold steady. We could certainly use a few more active breeders in the United States and Canada, but the numbers of breeders in Europe is increasing. Currently with breeders in 5 regions.

No health issues have been reported.

Due to the cats general good temperaments, at least three families are using a TR for their children's Jr Showmanship cats. One family has two of them as official emotional support animals. We have some Tennessee Rex being shown in other organizations for exhibition only or as Household pets, where their personalities really shine.

We look forward to our second year in Championship and continuing our work with this breed.

Respectfully submitted, Kathryn Stokey co-breed Chairman

● 2025 Annual 品種報告書に対する遺伝学委員会のコメント:

セレンゲティ: セレンゲティは苦戦しています。マーティンが指摘するように、TICA のウェブサイトでセレンゲティに関する情報をより多く、より質の高いものにし、広報活動を強化するために時間と労力を費やすべきです。LCWW は WCC の加盟団体ではないため、この犬種が TICA に加盟する手助けはできませんが、TICA のブリーダーの間で少しでも関心を高めることはできるかもしれません。

テネシー・レックス: 良好

トイボブ: 順調に進んでいます

● Bylaws 14.2 および 17.4 (品種の健康問題) の改正

この提案は、2025 年春季会議に向けて Forest が提出した提案の改訂版です。この改訂版では、当初提案されていた必須検査 (登録規則 310.1) への言及が削除されました。提案された健康面に関する事項は、品種委員会の任務の一部として、品種標準ではなく、standing rule 104.2.1 に定義されているブリーディングプログラムに組み込まれました。TICA の規則では、ブリーディングプログラムは PNB (登録規則 33.6.1.4.3)、ANB (登録規則 33.7.1.6.3)、そしてチャンピオンシップ (登録規則 33.8.8.3) への昇格手順の中で言及さ

れていますが、現時点では詳細な定義はされていません。この提案は最初のステップであり、新規および既存の繁殖委員会の両方にとって、ブリーディングプログラムを確立するための更なるガイドラインとなるでしょう。

ブリーディングプログラムの承認手続き案は、現行の品種標準変更手続き（17.4.1）と整合しています。投票にかかる費用については、2年ごとに自由投票を認めるという規則 1018.2.2 が適用されます。

提案されている規則変更は、TICA に登録されている猫の健康に関するものです。TICA は「ブリーダー、飼い主、出陳者、そして一般の人々に対し、品種の繁殖、展示、改良、そしてすべての猫のケアと福祉に関する知識と関心を高めるための情報の発信」という使命と目標を掲げていますが、現在、猫の品種特有の健康リスクに関する規則は制定されていません。提案されている規則変更は、規則を TICA の使命と目標に沿わせるだけでなく、科学的知見の蓄積に合わせて現代化することを目指しています。

これらの規則の目標は、(1)品種の現在の健康上の懸念を特定することによって福祉を向上させること、(2)繁殖前にブリーダーに知識を提供すること、(3)ブリーダーと購入者の間で品種特有の病気の蔓延に関する認識を高めることです。

これらのルール変更は、品種間の健康上の懸念の違いを認識しつつ、遺伝的多様性を維持することを目的としています。これらのルール変更により、各品種委員会が各品種の潜在的な健康上の懸念を特定し、それらの健康上の懸念に応じた品種固有の健康検査に関する助言を行うことが認められることとなります。遺伝的多様性は品種全体の健康に不可欠な要素であるため、このような品種固有の検査に必須の合格基準は設けられません。代わりに、助言に基づく健康検査を行うことで、ブリーダーは交配の可能性について、より情報に基づいた判断を下すことができます。

例えば、品種委員会が自社の品種に PKD（ペキニーズ疾患）の懸念がある場合、繁殖プログラムの一環としてこの懸念を共有することがあります。委員会がこの問題が当該品種にとって緊急を要すると判断した場合、猫に PKD の遺伝子検査を受けるよう勧告することがあります。同様に、品種委員会が股関節検査の要件を定めた場合、猫は特定の股関節グレードを有する必要はありませんが、ブリーダーには股関節グレードに基づいて検査することが推奨されます。これにより、ブリーダーは懸念される疾患のリスクを低減する組み合わせを選択できるようになります。

これらのルール変更により、品種特有の健康問題への意識が高まることが期待されます。品種委員会は、品種特有の健康問題について、ある程度の頻度で説明するか、あるいは重大な健康問題はないと表明することが求められます。

これらのルール変更により、ブリーダーは自身の血統についてより深く理解するよう促されます。ただし、このルールはブリーダーが（品種委員会の勧告がある場合に）健康検査を受けることを推奨するものであり、登録や展示会への出陳のために健康検査を受けていない猫の参加を妨げるものではありません。

猫の健康を守るための同様の条例を制定している他の猫協会には、GCCF と FIFe があります。GCCF では、各品種諮問委員会が承認された繁殖方針を作成、公表、推進することが義務付けられており、その後、遺伝委員会による審査が行われます。この方針には、既知の遺伝性疾患の説明と、それらを管理・軽減するための計画が含まれることになっています。GCCF はまた、遺伝性疾患の撲滅を明確な目的としてブリーダーが利用できるシステムである遺伝子登録制度も導入しています。FIFe にも、同様の品種固有の検査要件があります。ただし、これらは品種委員会ではなく、繁殖登録委員会全体によって設定され、科学的研究によって裏付けられ、少なくとも 5 年に 1 回は見直される必要があります。

私たちが提案する規則変更は控えめなものです。これらの変更は、TICA の使命に沿って規則を更新し、純血種の猫の健康を最優先にすることを奨励し、ブリーダーの知識を向上させることを目的としています。さらに、これらの規則が登録制度における猫の健康を擁護することで、政府の監督を求める国民の要望を軽減するのに役立つことを願っています。ヨーロッパでは、いくつかの品種が禁止されたり、禁止の危機に瀕しています。繁殖プログラムに健康上の懸念事項を含めることで、消費者とブリーダーの両方の知識が向上します。将来、品種固有の検査を実施することで、政府の監督ではなく、自主規制の強化が促進される可能性があります。

●Bylaw14.2の改正：

14.2 職務。各品種／品種グループ部会の委員は、当該品種／品種グループを後援し、当該品種／品種グループの包括的な基準および繁殖ガイドラインの策定に責任を負う。各品種／品種グループ部会の委員は、当該品種／品種グループの基準の修正および改訂を提案し、また、少なくとも5年に1回、繁殖ガイドラインの健康に関するセクションを更新する責任を負う。

Bylaw 17.4を追加：

17.4 品種委員会の任務。

17.4.1 品種/品種グループ セクションの正当な投票権を持つメンバーによって提出された品種スタンダードの変更、修正、または削除案に関して、品種/品種グループ セクションのメンバーを代表します。品種委員会に提出された提案は、品種委員会委員長が遺伝学委員会とルール委員会に検討と承認のために提出する前に、委員会の過半数の投票によって承認される必要があります。品種委員会委員長は、品種委員会による承認後 5 日以内に承認された提案を前述の委員会に提出し、委員会によって承認されなかった提案を当初の提出者に返却する責任があります。品種委員会メンバーはそれぞれ、前述の委員会または個人に提出された品種提案にコメントを添付できます。遺伝学委員会とルール委員会の承認後、提案は 118.2 に従って品種/品種グループ セクションの投票のために事務局に提出される必要があります。

17.4.2 品種委員会は、品種の繁殖ガイドラインを変更する場合、17.4.1 と同じプロセスを使用するものとする。

上記の変更が会員投票で承認された場合は、次の内容を追加します。

●Standing Rule 104.2.1 を追加する

104.2.1 繁殖ガイドライン 繁殖ガイドラインは、初心者と経験豊富なブリーダーの両方にとって貴重なリソースとして機能し、健康とタイプの両方に関する繁殖のガイドラインを提供します。各繁殖ガイドラインには、品種の異系交配ポリシー、品種の遺伝的多様性を取り上げ、必要に応じて品種固有の健康検査要件を概説した専用の健康セクションが含まれます。主な目的は、室内でよく世話されている猫の健康と福祉に悪影響を与えることが科学的に特定されている既知の遺伝学的問題を特定、管理、および緩和することです。

104.2.1.1 繁殖ガイドラインのその他のセクションには、品種の歴史や品種セミナーの包括的な説明が含まれますが、これらに限定されません。この説明は、極端な点を強調することなく品種の本質的な性質を表現し、品種の完璧な例に向けてバランスのとれた一貫した繁殖を促進することを目的としています。

104.2.2 Each Breed/Breed Group Section is strongly encouraged to present at least one Breed/Breed Group Seminar every 3 years.

104.2.2 各品種/品種グループセクションでは、3年ごとに少なくとも1回の品種/品種グループセミナーを開催することが強く推奨されます。

Rules Committee のコメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則について、また、意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されていること、そして全体を通して用語の統一性を確保すること」について規則委員会は、これを主に新品種の開発に使用される「繁殖プログラム」への追加として捉えるのではなく、「繁殖ガイドライン」という用語の方が適切であると判断しました。

繁殖プログラムの定義はすべて登録規則の一部であるべきであり、今回の変更の範囲外です

2. 提案のメリット（またはその他のメリット）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」）

Pros（メリット）

- ・繁殖ガイドラインは、新規ブリーダーが健全な繁殖プログラムを開始し、経験豊富なブリーダーが最新の動向を把握するための貴重なリソースとなります。
- ・TICA が猫の健康と福祉に注力していることを示すものです。

デメリット：

- ・追加文書の作成にはボランティア活動の増加が伴うため、会員が品種委員会メンバーとして積極的に活動することを躊躇する可能性があります。
- ・5年ごとの更新には、品種委員会が適切なタイミングで更新を行っているかを追跡する必要があり、EO（欧州委員会）における追加作業と自動化が必要になる可能性があります。

●[Bylaw 14.2 および 17.4（繁殖衛生問題）の改正](#)

提案

2025 Annual 提案に対する遺伝学委員会のコメント

品種の健康問題と繁殖プログラムに関して、考慮すべき点はいくつかあります。1. TICA は、世界最大の猫の遺伝子登録機関です。2. 私たちは、TICA の品種が繁栄し、健康であることを願っています。3. 他の多くの血統書付きの猫（および犬）登録機関では、評判の良いブリーダーによって繁殖された特定の品種のメンバーの健康状態と検査に関して、何を探すべきかについての情報が簡単に入手できます。

私たちの規則では、品種の開発における繁殖プログラムについて言及していますが、それを定義したことはありません。

動物福祉法が制定された今日では、健康問題が私たちにとって重要であることを積極的にする必要があります。

私たちは、ブリーダー、審査員、そして一般の人々への教育を優先すべきだと決定しており、ここは私たちがその教育の一部を提供できる場所です。

これらすべてを考慮すると、この提案は良いアイデアであり、良いスタートです。

具体的なコメント:

14.2 義務において、「各品種／品種グループセクションのメンバーは、繁殖プログラムの健康セクションを少なくとも5年に1回見直し、更新し、必要に応じて当該品種／品種グループの基準及び／又は繁殖プログラムの修正案および改訂案を提出する責任を負います。変更は必ずしも必要ではない場合もありますが、少なくとも見直しと承認を受ける必要があります。」

104.2.1 繁殖プログラムの最初の段落の末尾に誤字があります。「主な目標は、適切に飼育されている室内猫の健康と福祉に悪影響を与えることが科学的に特定されている既知の遺伝学的問題を特定、管理、および軽減することです。」これは「適切に飼育されている室内猫の健康と福祉に悪影響を与える」または「適切に飼育されている室内猫の健康と福祉に悪影響を与える」と正しくは「適切に飼育されている室内猫の健康と福祉に悪影響を与える」です

「17.4.1 品種委員会は、当該品種の繁殖プログラムを変更する場合、品種標準の変更と同じ手順を用いるものとする。より明確にするためには、「17.4.1 品種委員会は、繁殖プログラムを変更する場合、品種標準の変更と同じ手順を用いるものとする。」とすべきかもしれません。

●Amend By-Laws 17.4 Duties of Officers (Breed Committee Newsletters) -
By-Laws17.4 役員の職務の改正 (品種委員会ニュースレター)

理由: TICA の品種委員会は TICA の品種の管理者であり、品種/品種グループ セクションのメンバーおよび理事会に対して積極的に関与し、コミュニケーションを取り、主張することが奨励されるべきです

TICA の登録機関としての使命は、多くの品種を保護することです。この使命の一環として、品種委員会が選出された知識の宝庫となり、新規ブリーダーを指導し、品種の健全性と存続のために尽力するよう奨励することも重要です。このニュースレターは、品種委員会が会員やブリーダーを教育するための場を提供するものであり、これは TICA の今後の中核目標の一つです。

この変更を TICA の定款に盛り込むことで、品種委員会のこの責務が、他の品種/品種グループセクションに最善を尽くすための重要な責務として会員に認識されるようになります。

●Bylaw17.4 を改正する：

17.4 品種委員会の任務。

17.4.1 品種/品種グループ部会の誠実な投票権を持つメンバーによって提出された品種標準の変更、修正、または削除の提案について、品種/品種グループ部会のメンバーに報告する。品種委員会に提出された提案は、品種委員会委員長が検討および承認のために遺伝学委員会および規則委員会に提案を送付する前に、委員会の過半数の投票によって承認されなければならない。品種委員会委員長は、品種委員会による承認後 5 日以内に承認された提案を前述の委員会に送付し、委員会によって承認されなかった提案を当初提案を提出した個人または個人に返却する責任がある。品種委員会のメンバーはそれぞれ、前述の委員会または個人に提出された品種の提案にコメントを添付することができる。遺伝学委員会および規則委員会の承認後、提案は 118.2 に従って品種/品種グループ部会の投票のために事務局に送付されなければならない。

17.4.2 理事会が定めた定款に従い、品種/品種グループセクションのメンバーと理事会に品種に関する関心事項を定期的に通知します。

上記が会員投票で承認された場合、現在の 107.4 を 107.4.1 に番号を変更し、定款 107.4.2 を追加します。

107.4.1 品種委員会委員に対する投票は事務局によって行われ、その結果は品種委員会委員長に報告されるものとする。

107.4.2 品種委員会は、ショーシーズン終了後 60 日以内に、品種セクション/グループのメンバーおよび理事会に年次電子ニュースレターを提供することを強く推奨します。ニュースレターの目的は、品種特有の動向、健康問題、法規制、標準改訂、教育トピックについて会員に情報を提供することです。また、登録および会員動向についても取り上げることができます。

Rules Committee コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則について、また、意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されること、そして全体を通して用語の統一性を確保すること」について

他の規則は明らかに影響を受けないものの、EO はこのプロセスの一環として調整役を担うべきである。例えば、ニュースレターの共通テンプレートの指定、ニュースレター制作状況の追跡、TICA ウェブサイトへのニュースレターのアーカイブ化などが挙げられる。

2. 提案のメリット（またはその他のメリット）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」）

ルール委員長の注記: ルール委員会は、これは良いアイデアであることには同意するものの、単にルールを追加するのではなく、まず適切なインフラストラクチャを構築する計画的な実装が必要であると感じました。

● 利点：

●このようなニュースレターは、シナ種セクション/グループのメンバーにとって有益です。・教育活動に役立ちます（TICA の中核目標）。

デメリット：

●追加作業のため、会員が品種委員会への立候補を躊躇する可能性がある

●作動していない委員会からは何も成果が得られない

●特に大規模な品種セクション/グループでは、適切なインフラの整備が求められる（例：ニュースレターを送信するための TICA 内部ツール、または少なくとも無料または安価で使いやすい、検証済みの外部ツール、ニュースレターの発行頻度を追跡するプロセスなど）

● ショールール 23.6（入場拒否）の改正

理由：

現在のルールと比較すると、TICA によって一時的または永久的にサービスが停止されたことがある場合、またはクラブが過去に当該人物またはその猫と問題を抱えていた場合、クラブはエントリーを拒否できるようです。他に理由はないようです。

このルールは TICA ショーへのエントリー受付に関するものであり、クラブ会費を期日までに支払っていない人については適用されません。TICA は、ショーに出場するためにクラブに所属することを強制していませんし、クラブの内部運営に関するガイドラインも定めていません。

率直に言って、23.6.3 の現在の文言は分かりにくいです。TICA の一時的または永久的な資格停止リストは存在しません。あるのは一時的資格停止リストのみです。サービスの停止は、一時的な場合も永久的な場合もあります。さらに、当ルールではクラブの一時的または永久的な資格停止リストを作成または定義していません。繰り返しますが、TICA はクラブを運営しているわけではありません。この規則は、TICA 公認のキャットショーへのアクセスを提供することに関するものです。

ショールール 23.6 の改正：

23.6 ショー委員会は、その裁量により以下の理由によりエントリーを拒否することができる。

23.6.1 受信されるエントリの最大数。

23.6.2 ショー開催日が 21 日間の禁止期間中である

23.6.2.1 ショーの開催日前 21 日以内に真菌または伝染病や伝染病が発生した家または猫舎の猫または子猫は、会場に入場および/または猫の出陳展示の資格がありません。

23.6.3 出陳者の氏名が TICA 一時または停止リストに掲載されている。

23.6.4 出陳者によるショールールおよび/または定款違反を主張する正式な抗議申し立てが提出され、理事会は抗議申し立てを承認し、その結果、出陳者は TICA のすべてのサービスから資格停止処分を受けました。

23.6.5 エントリー者および/または出陳者の事前の行為が、協会の最善の利益、または猫の福祉、またはクラブおよび/またはそのショーに有害である。

23.6.5.1 ショー委員会は、23.6.5 を適用する場合、出陳者に書面で通知するものとします。

23.6.5.2 ショー委員会は、情報開示の要請があった場合、出陳者に対し、有害な過去の行為の詳細を開示するものとする。

23.6.6 立ち入りが法律により禁止されています。

23.6.7 最終エントリー日は過ぎています。最終エントリー日は、告知されている「締め切り日」にかかわらず、エントリーを受け付ける最終日時です。ショー委員会は、エントリーを受付順に受け付けますが、参加費の支払いを伴うエントリーを優先する場合があります。

23.6.7.1 ショー委員会が 23.6.7 に従ってエントリーを拒否した場合、いかなる理由があってもそれ以上のエントリーは受け付けられません。

Rules Committee コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則について、また、意図された意味を伝えるために適切な用語が使用され、用語の統一が図られるようにすること」
The Rules Committee were tasked with re-examining this proposal after the Spring 2025 Board meeting. The use of “Temporary” in 23.6.3 was questioned, as was the need for 23.6.4.
Spring 2025 Board meeting 後、ルール委員会はこの提案の再検討を任されました。
23.6.3 における「暫定的」という表現の使用と、23.6.4 の必要性が疑問視されました。

「一時的停止リスト」という用語は、例えば、Bylaws 113.1 および Standing 1019.2、1026.3.1、および 1026.8.1 で使用されている用語と一致しているため、正しい用語です。

TICA ルールには、懲戒処分が一時資格停止リストに記載されなければならないと明記されていないため、23.6.4 は依然として必要です。懲戒処分によっては、永久資格停止につながる場合もあります。

2. 提案のメリット（またはその他の点）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」）

利点：

- ・ 出陳者がショーに出展できない理由に関する規則を明確化する。
- ・ 用語を他の規則と整合させる。
- ・ 23.6.4 の文言変更により、苦情を申し立てた者がショーへの出陳を拒否されることがなくなる。既存の文言は曖昧である。

欠点：

- ・ クラブが運用を選択できる出場停止リストに関する言及を削除する。

● Show Rule 216.12.12 (DQ DBE Cats)を追加する

理念：TICA の使命は、会員が愛情深く責任ある猫の飼い主およびブリーダーとなり、血統書付き猫の保護とすべての飼い猫の健康と福祉の促進に協力することを奨励することです。

近年、ブリーダーは、カラーポイント (cs)、ホワイトセルフ (W)、ホワイトスポッティング (ws) など、これまで知られていた遺伝子に起因しない青い目を持つ猫を数多く特定しています。これまで実現できなかった青い目のブラックセルフなど、より多様な毛色や模様の青い目を作り出すため、ブリーダーはこれらの猫の品種改良を始めました。こうした実験的な繁殖プログラムは、青い目の猫の人気が高まり、その特徴が複数の品種に導入されるにつれて拡大しました。青い目を引き起こす遺伝子は複数特定されており、これらはすべて優性遺伝子であるため、総称して優性ブルーアイ (DBE) と呼ばれています。

しかし、この青い目の外観は紛れもなく印象的ですが、この特徴は先天性感覚障害、特に難聴のリスクを著しく高め、猫の生活の質に深刻な影響を与える可能性があります。

したがって、優性ブルーアイ (DBE) を繁殖プログラムに含めることは、責任ある繁殖慣行の誠実性、そして猫自身の健康と福祉に関して深刻な懸念を引き起こします。この慣行は TICA の使命に真っ向から反するものです

レスリー・ライオンズ博士が最近の DBE に関するセミナーで述べたように、「ショーや登録に DBE を受け入れてはいけません。既に良くないと分かっているものを、なぜ猫の品種に取り入れようとするのでしょうか。予測が非常に難しいのです。様々な変異があり、聴覚障害の問題につながることは間違いありません。そして、変異体の混合は問題となります。聴覚障害のある猫に対する法律があることは既に知っています。私たちは猫の福祉をより良くするための分野に着手しようとしています。では、猫の聴覚障害を引き起こすことが既に知られている新しい突然変異を、今の時代に持ち込むことで、本当に人々の厳しい監視を受けることになるのでしょうか。100 年前にはそのような考え方はありませんでしたが、今では私たちはそのような考え方を持っています。

言い換えれば、TICA は、猫の福祉に悪影響を与えることが十分に裏付けられている遺伝子をショーホールに持ち込むことで、血統種の健康と健全性だけでなく、将来の繁殖能力そのものを危険にさらす覚悟が本当にできているのだろうか？動物福祉が国民や立法府の厳しい監視の目にさらされている時代に、この道を歩み続けることは、責任ある猫の繁殖の根幹を危険にさらす可能性がある。このようなことを知りながら容認するなら、私たちは一体何の組織なのだろうか？

Proposal・提案

この提案は、優位性ブルーアイ (DBE) を持つ血統猫を失格 (DQ) とするものです。DBE を責任を持って品種に取り入れることができると思うブリーダーは、TICA 理事会の承認を得て、品種スタンダードへの DBE の組み込みを申請することができます。

この件に関する以前の提案は、ミンク&セピア部門の青い目の猫が目の色を理由に不利な扱いを受けるべきではないとの判断から、2025 Spring meeting で承認されませんでした。したがって、この改訂案は、トラディショナル部門の優位な青い目の猫にのみ適用されます。

この提案されたルールの変更は、次の問題に対処することを目的としています。

健康と福祉に関する懸念：

優性ブルーアイは、先天性感覚障害、特に難聴の発生率が高く、猫の生活の質に影響を与えることが知られています。この特徴が毛色を問わず一貫して見られることは、遺伝的関連性を示唆しており、他の発達異常や健康関連異常にも影響を及ぼす可能性があります。優性ブルーアイの猫を失格とすることで、動物の福祉を最優先する繁殖方法を促進します。

TICA の責任ある繁殖基準への準拠：

TICA は、責任ある繁殖を通じて品種の健康を維持し、異常を軽減または排除することの重要性を強調しています。DBE 猫をショー会場で展示することは、潜在的な健康問題に関連する特性を間接的に促進することになり、この原則に反します。このルール変更は、認定品種の健康と持続可能性を最優先するという TICA のコミットメントを強化するものです。

健康リスクに基づく失格の判例：

斜視、下顎、尾の欠陥など、失格の理由となる他の身体的異常と同様に、DBE はショーホールからの除外を正当化する遺伝的異常です。これにより、TICA のルール適用における一貫性が確保され、高い繁殖基準が促進されます。

倫理的な繁殖の促進：

DBE をショー会場から除外することは、健康リスクに関連する形質を美観のために優先すべきではないという明確なメッセージとなります。これは倫理的な繁殖慣行を促進し、一般の人々とブリーダーに対し、表面的な形質よりも遺伝的健康の重要性を啓発することになります。

Show Rule 216.12.12: を追加する

216.12.12 真っ白な猫を除き、ソリッド/トーティ/タビー/シルバーおよびスモーク部門のトラディショナルまたはセピアカテゴリーに分類されるブルーまたはオッドアイの猫は、委員会承認した基準によって許可されていない限り、失格となります。

Rules Committee コメント

- 1 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則、および意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されていること、および用語の統一性を確保すること」についてなし
2. 提案のメリット（またはその他のメリット）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案を検討する」）

利点：

- ・ 個々の品種基準を変更することなく、DBE 猫の問題に対処します。
- ・ DBE 猫を識別するための明確かつ客観的な基準を提供します。

欠点：

- ・ HHP/HHPK クラスには適用されません（216.12 参照）

●2025 Annual 報告書に対する遺伝学委員会のコメント

ショールール 216.12.12 (DQ DBE 猫) ベンガル品種委員会 / EN・RD

遺伝学委員会のコメント

遺伝学委員会はこの提案に賛成です。DBE の遺伝的原因のすべてが、罹患猫に感覚障害を引き起こすわけではないことは理解していますが、現在様々な品種に導入されている遺伝的原因の中には、感覚障害を引き起こすものがあることは承知しています。私たちは、血統書付きの猫に意図的に有害遺伝子を導入することを奨励したくありませんし、ましてやショーのベンチ（ジャッジ台）でそれを褒美したくありません。

これらの遺伝子は、既に青い目を持つポイントカラーの猫では検出されないことが分かっています。また、ミンク色の猫は目が十分に青い場合があり、このルールを適用すると問題が生じる可能性があります。遺伝委員会は、DBE 遺伝子を持たない正当な猫を除外することなく、セピア色の猫をこのルールに含めることができると考えています。セピア色の猫は青緑色の目をしているかもしれませんが、白猫か DBE 変異がない限り、品種に関わらず真に青い目を持つ可能性は極めて低いからです。

また、DBE は白猫にも潜んでいる可能性があり、DBE の変異によって、影響を受けた猫の体の一部に白い斑点が現れることも認識しています。白斑遺伝子も持っていない限り、四肢すべてが白い猫は稀です。DBE 猫が好まれる理由は、白斑のないソリッド猫やタビー猫で青い目を持つ猫は、エキゾチックで魅力的な外見をしているからです。白で青の目を持つ猫はそれほど珍しくないため、珍しい色を求める人にとってはそれほど魅力的ではありません。この提案は、遺伝委員会がチャンピオンシップにおける白猫の最低限の白の基準をより厳密に定義するという UCD への勧告と相まって、TICA が有害な DBE 遺伝子を優遇するのを防ぐのに役立つでしょう。

この提案のもう一つの良い点は、品種が DBE 猫の飼育を許可するための根拠を示すことを認めていることです。なぜこれが良いのでしょうか？それは、動物界には青い目を引き起こす遺伝子は豊富に存在するものの、他に問題がないからです。人間は青い目の劣性遺伝子を持っています。ハスキー犬には、ゲノムの全く異なる領域の突然変異を介して機能する DBE 遺伝子があり、それがメラノサイトが虹彩に移動する可能性に影響を与えるだけで、それだけです。そのため、ハスキー犬は、他の健康への影響なしに、その結果として片方または両方の青い目を持つ可能性があります。同等の DBE 遺伝子が猫で見つかり、悪影響がないことが示された場合、それを許可するメカニズムがあるはずで、今後、追加の遺伝子検査がより利用可能でアクセスしやすくなるはずで、それほど遠くない将来、一部の表現型に遺伝子検査が必要とタグ付けし、遺伝子検査の結果に基づいて個体をチャンピオンシップに不適格、さらには繁殖にさえ不適格とマークできるようになるかもしれません。まだそこまでは至っていませんが、当面は、これは正しい方向への一歩です。

● Reg Rule 33.11 (Trait or Breed のチャンピオンシップの取消) を追加 – 遺伝学委員会

理由：

- 1) TICA は新種および New Traits の促進に関する詳細な手順を定めている。しかし、それらを排除するための手順は存在しない。このシステムは不均衡である。
- 2) これらのルールが施行されれば、遺伝委員会をはじめとする関係者にとって、新種または New Trait の発展を支援しやすくなります。現在、私たちは以下の 2 つの点をトレードオフしています。a) 当該品種または形質の特徴に直接関連している可能性があるものの、中年期に顕在化したり、影響を受けた猫を飼育するブリーダーによって隠蔽されたりしている、将来起こりうる健康問題や福祉問題への懸念。b) 自らの品種または形質がチャンピオンシップの地位を獲得するために、倫理的に努力を重ねているブリーダーにとって、大幅な遅延なく、妥当なタイムラインを提供すること。近年、ブリーダーが新たに発見された特性を採用するスピードは劇的に加速しています。猫の愛好において、熱意はもっと活用すべき前向きな力です。新しい特性や品種の発展を抑制し、問題がないか 10 年から 15 年も待つのではなく、熱意が高まっているうちに、より短期間で競争させることができれば有益でしょう。これを相殺するために、時間と追加情報によって特性に取り返しのできない問題が明らかになった場合、除去できる仕組みが必要です。将来深刻な問題が生じた際に品種や特性を取り消す可能性があるのであれば、正確な遺伝子、正確な変異、そしてそれがもたらす可能性のあるすべての将来的な悪影響を知らずに、何かを導入する方が簡単です。
- 3) 現在、ヨーロッパでは反品種法が急速に施行されています。これは、私たちの品種の健康と保存にとって、存亡の危機です。これらの品種禁止の公式根拠は、様々な品種の猫の命が拷問に等しいというものです。これまで禁止されてきた個々の品種の具体的な根拠は、しばしば明らかに虚偽でした。もし、品種や特性の評価において、科学的根拠に基づいた真の手順があれば、他の地域で品種を禁止するために用いられてきた方法や根拠の欠陥を、より容易に指摘できるでしょう。しかしながら、チャンピオンシップから品種や特性を削除する仕組みがないため、協会としての私たちの声明の信頼性は、もしそうであれば低くなります。私たちは積極的に行動する必要があります。レスリー・ライオンズ博士が最近のプレゼンテーションのスライドで述べたように、「品種を特徴づける突然変異が健康上の問題を引き起こす品種を『引退』させる」ことができるようにする必要があります。私たちの団体が、血統書付きの猫、実際はすべての猫の健康と福祉を真剣に考えている事を示す必要があります。
- 4) ここで概説したように、特性や品種の除去は容易かつ迅速なプロセスではなく、またそうあるべきではないことを明確にしておきます。除去の提案は、不満を持つ個人ではなく、TICA の特定の公式委員会によってのみ提出できます。これは深刻な問題であり、軽々しく行うべきではありません。ルール、遺伝学、猫の福祉、基準、審査委員会、または理事会などの委員会は、除去請願に必要な専門知識を有しています。私たちは、これを、TICA チャンピオンシップ品種の健康状態を確保し、個々の猫が、その品種や特性に不可逆的に関連する有害遺伝子に邪魔されることなく、幸せで健康的な生活を送れるようにすること以外の目的に使用してほしくありません。

●REG ルール 33.11 を追加:

Trait または品種のチャンピオンシップステータスの取り消し

- 33.11.1 TICA 常設委員会または理事会は、チャンピオンシップ犬種内の特定の形質または犬種全体のチャンピオンシップ資格を取り消すために、その形質または犬種を定義する突然変異が、室内でよく飼育されている猫の健康と福祉にさえ支障をきたす問題を直接引き起こす場合、取り消し要求を行うことができます。
- 33.11.2 取消要求は、裏付けとなる証拠とともに、取消の承認を求めるボードミーティングの少なくとも 90 日前までに、遺伝学委員会の各委員、ルール委員会の各委員、および影響を受ける品種委員会の各委員に送付されるものとします。

33.11.3 チャンピオンシップ ステータスの取り消しを提案する意向通知は、申請が審議される会議の少なくとも 120 日前までに TICA トレンドに掲載され、品種/ trait に関するコメントを事務局に提出するよう求められなければなりません。

33.11.4 取り消しが適切かどうかを判断する基準には以下が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 動物の健康や福祉に有害な健康状態や行動の変化の根底にある生物学的メカニズムの特徴付け。
- 症状の重症度、生活の質への影響、出産数と生存率、寿命など、悪影響を受けた個体の割合を確立する統計分析。
- 有害な影響を検出して防止し、またはその重大性を最小限に抑えるための緩和戦略。
- 症例報告や集団研究などの証拠。査読付きの獣医学または科学雑誌に掲載されているものが望ましい。

33.11.5 理事会において、取消申請を行う委員会の指定代表者（複数可）が、取消を裏付ける証拠を正式に提出するものとします。これには、写真、イラスト、画像、統計、健康状態および繁殖に関する報告書、品種または形質の実例、その他関連資料が含まれますが、これらに限定されません。

33.11.5.1 事務局が当該品種/ trait に関して受け取ったコメントは、1 つの文書にまとめ、会議の少なくとも 30 日前までにボードメンバーに送付するものとする。正式な反論は、当該品種の委員が作成し、提出することができる。反論は、以下のガイドラインに従うものとする。

33.11.5.2 ボードは、取消を承認、不承認、または追加の要件を課すことができ、ボードは、これらを完全な裁量で要求することができます。取消には、ボードの 75%以上の賛成票が必要です。

33.11.6 品種または trait が取り消された場合、個々の猫および子猫は既存の登録番号を保持します。取得したタイトルは保持されます。取り消した後、当該品種/ trait は永久に、または再登録されるまで、登録のみのステータスとなります。

33.11.7 品種または trait が取り消された後、新たなデータによって当初の取り消しの根拠が否定されることが判明した場合、チャンピオンシップ展示資格の復活を申請することができます。復活手続きは、33.11.1～33.11.4 に定められたものと同じ手順で行われます。

33.11.7.1 請願は、TICA Standing 委員会、ボード、または少なくとも 3 つの地域から少なくとも 5 人の TICA 会員によって行うことができます。

33.11.7.2 復帰の請願は、当該品種または trait に関する最後の委員会の決定から 3 年経過してから検討されます。

Rules Committee: コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則について、また、意図された意味を伝えるために適切な用語が使用され、用語の統一が図られるようにすること」
Annual 2024 報告書への前回の提出と同様に、ルール委員会は「引退」ではなく「取り消す」という用語を使用するように文言を調整しました。これは、「取り消す」という用語の方がルールにより正確な表現であるためです。
ルール委員会は以前と同様に、最終的には PNB と ANB にも同様のプロセスが必要になる可能性があるとして指摘しています。現在、降格の唯一の理由は、年次報告書の提出の不履行、または当該種への「関心の欠如」です。

2. 提案のメリット（またはその他のメリット）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」）

利点：

- ・避けられない深刻な健康問題が品種に発生した場合に、チャンピオンシップ展示への参加資格を取り消すための堅牢な手続きを導入します。
- ・関係者による証拠に基づく意見提出後、理事会の過半数（75%）の賛成を得て承認されます。
- ・十分な証拠が提示された場合、取り消しを取り消す手段を提供します。

デメリット：

- ・品種登録が取り消されても、その品種が登録のみのステータスのままである限り、TICA の傘下でその品種の繁殖を続けることを妨げるものではありません。TICA の公式書類は発行されますが、ショーに出場できなくなります。金銭目的で繁殖を行う人は、その品種がショーに出場可能かどうかは気にしません。

● Standing Rule 106.4.1（委員会構成）の改正 -

理由

Advisory Standing 委員会は、まさにその名の通り、諮問的な委員会です。委員会はボードに勧告を行うことしかできず、ボードはこれらの勧告をボードの裁量で採択、却下、または修正することができます。これは、ボードから委任された決定を下す権限を持つ Board

Administrative Standing 委員会（現在は審査委員会のみ）とは対照的です。

Advisory Standing 委員会は、TICA 会員の中でもごく少数の「専門知識とスキル」を活用します。ルール委員会や遺伝学委員会といった主要委員会はその典型的な例です。

理想的には委員会メンバーはボードの外部から選出されるべきですが、そのような知識とスキルを持つボードメンバーの委員就任を拒否することは不公平です。そうすることで、委員会の審議で議論され、その後委員会報告書としてボードにまとめられた助言の効果が薄れてしまう可能性があります。

さらに、ボードのメンバーは、「利益相反」ポリシーなどのポリシーに拘束され、ボードと委員会の両方の役割を担うメンバーに関する潜在的な懸念に対処する必要があります。

TICA の設立以来、この制限は必要とされていませんでした。2014 年に導入され、2019 年に廃止されました。その後、2022 年冬の会議で再導入され、当時のボードの少数の賛成多数で可決されました。

● Standing Rule 106.4.1 を改正する:

106.4.1 Advisory Standing 委員会。

以下の委員会は諮問的な役割を担います。これらの委員会は、ボードがより効果的な意思決定を行い、協会を代表して会員を支援するためにボードが指定するプログラムや活動を開発・実施する上で役立つ専門知識とスキルを提供します。

~~別段の定めがない限り、諮問常設委員会の委員は理事会の委員を兼任することはできない~~

Rules Committee コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則、および意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されていること、および用語の統一性を確保すること」について

なし

2. 提案のメリット（またはその他のメリット）に関する意見（すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」）

メリット：

- ・諮問常任委員会のポジションに最も幅広い候補者を確保できる

デメリット：特になし

● ● Standing Rule 601.2.11 (賞の所有権) の改正 -

理由

このルールは、特に子猫に関して欠陥があると思います。1月1日から4月30日までの間にショーに出場できる子猫は、世界中に文字通り何千匹もいます。これらの子猫の多くは1月1日までに売れ残っており、多くのブリーダーはそのような子猫を宣伝のためにショーに持ち込みます。もしその子猫がそのショーで一度でもファイナルの残り、その後もショーに出陳し続けたい人に買われたとしても、その子猫は宙ぶらりんの状態になります。なぜなら、現行ルール 601.2.11 はどちらか一方にのみ適用され、両方には適用されないからです。

私は、シーズンの終わりに子猫/猫/去勢猫の所有者としてリストされているブリーダー/新しい所有者に任せ、他のすべての更新に合わせて5月7日までにEOに登録する必要があることを提案したいと思います。

601.2.11 を改正する

601.2.8 猫の採点は1月1日に居住地域で行われます。TICA のどの地域でも現役軍務に就いている会員および/または出陳者は、自国の軍法規に従い、法的居住地がある地域で採点を受けることを選択できます。ただし、地域賞を獲得するには、居住地域で少なくとも1回は出陳する必要があります(901.4.3.2 参照)。

601.2.9 事務局に書面で通知されない限り、子猫は最初に展示された地域で採点されます。

601.2.10 猫または子猫が1月1日より前にショーキャリアを終えた場合、そのキャリアを終えた地域で採点されます。

601.2.11 採点のため、登録証の譲渡日は、事務局が譲渡書類を受領した日とみなされます。新しい所有者を証書に記載するには、譲渡書類を1月1日までに事務局が受領する必要があります。譲渡後にのみ展示された場合は、5月7日までに事務局が受領する必要があります。譲渡前にのみ展示された場合は、以前の所有者に証書が授与されます。以前の所有者は、5月7日までに事務局に通知された場合、新しい所有者を証書に記載するよう要請することができます。この要請によって、猫の採点対象となる地域は変更されません。

Rules Committee コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則、および意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されていること、および用語の統一性を確保すること」についてなし
2. 提案のメリット(またはその他の点)に関する意見(定款106.4.1.1に基づく「提案の審査」)

メリット:

- ・ 猫または子猫の新しい飼い主は、自分の名前で賞を受け取ることができるため、TICA に対する一般的な好意が高まる
- ・ 新しい飼い主が前の飼い主よりも多くのショーに出場したにもかかわらず、前の飼い主が賞に引き続き記載されるといふ混乱を避けることができる

デメリット:

- ・ すべてのリクエストが確実に尊重されるようにするために、EO(事務局長)が追加作業を行う可能性がある

● UCD 76.1 および用語集 (DBE 猫) の改正 – 遺伝学委員会

理由

新しいルールとスタンダードの変更には、KIT 遺伝子以外の遺伝子の変異によって引き起こされる優性遺伝の青い目である優性ブルーアイ (DBE) が関係します。KIT 遺伝子の変異は、チャンピオンシップ猫で優性ホワイトとパーティカラーを引き起こします。DBE を引き起こす変異は 1 つ以上ありますが、いくつかは PAX3 遺伝子にあります。これらの変異のいくつかは、聴覚喪失などの感覚障害に関連しています。少なくとも 1 つは顔の構造の変化を引き起こします。その他は良性で青い目だけを引き起こす可能性があります。影響を受けた猫の一部に白い部分が現れることもあります。通常、白い部分は顔か顎にあります。胸や足の一部に白い部分が現れることもあります。KIT 遺伝子によるパーティカラーでない限り、4 本の白い足を持つことは比較的まれです。

メインクーンのスタンダードでは、パーティカラーは四肢全てに白毛がなければならないと定められています。審査員の中には、これを暗黙のルールとして、パーティカラーの猫と、大きなロケットや複数のロケットを持つ猫 (時折、1~2 本の足の指に着地することがある) を区別するために利用している人もいます。

ロケットによって引き起こされる猫の白、KIT 遺伝子 (S) による白い斑点、および DBE によって引き起こされる白い斑点の間に典型的に見られる表現型の違いを明確化し体系化するために、UCD と用語集に次の変更を提案します

● UCD 76.1 を修正: 76 任意の色と白の区分。

76.1 4 つのカテゴリーのいずれの部門の色でも (トラディショナル ソリッド ホワイトを除く)、KIT 遺伝子 (Receptor Tyrosine Kinase) の優性変異および劣性変異の結果として、白い斑点が現れることがあります。これらの猫は、対応する色の部門/カテゴリーの「ホワイトあり」部門で審査されます。つまり、黒と白の猫は「トラディショナル ソリッド ウィズ ホワイト」部門で審査され、シール スモーク セピアと白の猫は「セピア シルバー/スモーク ウィズ ホワイト」部門で審査されます。猫は、白の配置が指定されていない場合、または白の 4 つの認められたパターン (グローブ、ミット、バイカラー、バン) のいずれかで現れることがあります。ホワイトあり部門で競技に参加するには、猫は最低でも 4 本足すべてのつま先が白でなければなりません。

用語集に追加:

DBE: DBE は優性青眼 (Dominant Blue Eyes) の略です。DBE 猫は、白やパーティカラーではない、伝統的な色またはセピア色の猫に、片目または両目の青い目を持つのが一般的ですが、必ずしもそうとは限りません。DBE にはいくつかの種類があり、PAX3 遺伝子などの様々な遺伝子の変異によって引き起こされます。KIT 遺伝子の変異は、白一色の猫やパーティカラーの猫の原因となるものではありません。DBE 遺伝子は、顔や胸に白い斑点を引き起こすこともあります。

白の場合：パーティカラーを参照してください。

Rules Committee コメント

1. 「提案された変更によって影響を受けるその他の規則、および意図された意味を伝えるために適切な用語が使用されていること、および用語の統一性を確保すること」についてなし
2. 提案のメリット (またはその他の点) に関する意見 (すなわち、定款 106.4.1.1 に基づく「提案の審査」)

メリット

- ・ TICA 設立以来、審査員が用いてきた暗黙の「経験則」を公式化する・ DBE 猫の定義を明確にする
- ・ デメリット：・ 以前はショーに出場可能だった猫は、四肢すべてに白色がない限り、ショーに出場できなくなる

READJUSTED WITHOUT MARKETING TICA TREND YEARLY REPORT FROM AUGUST-SEPT 2024 THRU JUN-JULY 2025 (6 ISSUES)

ITEMS	AUG/SEP 2024 VOL 45 NO. 5	OCT/NOV 2024 VOL 45, NO. 6	DEC 2024/JAN 2025 VOL 46, NO. 1	FEB/MAR 2025 VOL 46, NO. 2	APR/MAY 2025 VOL 46, NO. 3	JUN/JULY 2025 VOL 46, NO. 4	TOTAL YEAR 6 ISSUES
PAGE COUNT	64	56	36	48	36	40	280
TOTAL PRINT QUANTITIES	2,330	2,358	2,393	2,426	2,447	1,849	13,803
PRINTING COST	\$ 6,993.42	\$ 6,977.26	\$ 5,229.84	\$ 5,443.46	\$ 5,113.97	\$ 5,015.25	\$ 34,773.20
AVERAGE PRINTING COST	\$ 3.00	\$ 2.96	\$ 2.19	\$ 2.24	\$ 2.09	\$ 2.71	\$ 15.19
TOTAL PRINTING CHARGES WITH US/OVERSEAS SHIPPING	\$ 13,340.09	\$ 13,251.38	\$ 10,660.94	\$ 11,386.90	\$ 10,661.34	\$ 9,624.48	\$ 68,925.13
COST PER ISSUE WITH PRINTING/ MAIL PREP/POLY SHIPPING-US/OVERSEAS	\$ 5.72	\$ 5.62	\$ 4.46	\$ 4.69	\$ 4.36	\$ 5.21	\$ 30.06
ADVERTISING FROM EDITOR	\$ 1,466.50	\$ 1,041.50	\$ 1,811.50	\$ 1,026.50	\$ 1,081.50	\$ 1,201.50	\$ 7,629.00
ADVERTISING MARKETING	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -	\$ -
TOTAL ADVERTISING	\$ 1,466.50	\$ 1,041.50	\$ 1,811.50	\$ 1,026.50	\$ 1,081.50	\$ 1,201.50	\$ 7,629.00
EDITOR SALARY	\$ 3,150.00	\$ 3,150.00	\$ 3,150.00	\$ 3,150.00	\$ 3,150.00	\$ 3,150.00	\$ 18,900.00
TREND MEMBERS \$5/\$10** 6 ISSUES AVE							
TOTAL COST MINUS ADS	\$ 11,873.59	\$ 12,209.88	\$ 8,849.44	\$ 10,360.40	\$ 9,579.84	\$ 8,422.98	\$ 61,296.13
TOTAL COST WITH EDITOR SALARY	\$ 15,023.59	\$ 15,359.88	\$ 11,999.44	\$ 13,510.40	\$ 12,729.84	\$ 11,572.98	\$ 80,196.13
COST PER ISSUE WITH ADVERTISING/EDITOR	\$ 6.45	\$ 6.51	\$ 5.01	\$ 5.57	\$ 5.20	\$ 6.26	\$ 35.00
TREND ONLINE ACCESS	4,646	5,141	5,541	5,942	6,229	4,324	31,823
ESTIMATED % OF MEMBERS ONLINE	66.59%	68.55%	69.83%	71.00%	72%	70%	417.76%
BULK INKJET MAILING PREP/NCOA PROCESSING	1,342	1,369	1,384	1,400	1,423	1,123	8,041
COST INKJET MAILING PREP	\$ 379.80	\$ 381.22	\$ 394.56	\$ 395.42	\$ 396.66	\$ 430.78	\$ 2,378.44
BULK CANADIAN	187	189	190	193	194	138	1,091
COST BULK CANADIAN postage included	\$ 1,203.73	\$ 1,213.78	\$ 1,024.22	\$ 1,133.76	\$ 1,040.20	\$ 860.46	\$ 6,476.15
BULK INTERNATIONAL	702	709	717	727	717	527	5,218
COST BULK INTERNATIONAL postage included	\$ 4,162.83	\$ 4,201.69	\$ 3,607.19	\$ 3,905.20	\$ 3,607.19	\$ 3,001.88	\$ 22,485.98
FIRST CLASS DOMESTIC, INTERNATIONAL, CANADIAN	146	139	154	162	101	72	774
COST FIRST CLASS DOMESTIC, INTERNATIONAL, CANADIAN	\$ 463.57	\$ 507.66	\$ 403.75	\$ 466.95	\$ 366.95	\$ 277.48	\$ 2,486.36
*** PLASTIC \$.15 PER ISSUE NOT DOMESTIC							
****MARKETING ADVERTISING CHARGES AND ADVERTISING WERE REMOVED DUE TO NO DIRECT PAYMENTS TO TREND****							
**MEMBERSHIP INCOME PER ISSUE DEPENDS ON ONE, TWO, THREE, OR LIFETIME PAYMENTS (ESTIMATE) COST OF TREND ACCESS ONLINE VS PRINTED							
TOTAL QUANTITIES FOR DOMESTIC ACCOUNTS FOR COPIES SENT TO OFFICE(25)							
ESTIMATED % BASED ON EACH ISSUE QUANTITIES							
STARTING FEB/MAR 2023 ISSUE, OFFICE IS RECEIVING 25 COPIES BUT INCREASE IN POSTAGE IN APRIL/MAY 2023 ISSUE							
POSTAL PRICES HAVE INCREASED AND PLASTIC IS REQUIRED ON ALL INTERNATIONAL ISSUES							

Task - Public follow-up	Owner	Date Created	Status	Note
TICA's pedigree revision to include more genetic information	van Mulkem	5/18/2020	ongoing	2024S - work in progress- beginning stages of bringing information over - wisdom health 2024A ongoing. 2025W work with Summit to get a quote on an estimate cost. 2025S on going we added ability to purchase genetic test in TFMS
China - may need to consider changing law firm due to death of the office attorney	Adier/NavarezShi	2024S	ongoing	Jeff will check to see if the current attorney office is still open and operating 2024A ongoing. 2025W working on the paperwork that needs apostille from Texas. Hire an agency/service to complete the paperwork needed to move forward. 2025S pretty much finished with all types of document and will submit all paperwork.
How to identify when a region is suffering, come up with some sort of plan to identify trends - identify what data is needed first then create reporting.	Danny	2024S	ongoing	Schiff, Maddox, Arnel, Vlach work with Danny to identify what data is needed to get the reporting and try to identify the trends. 2024A start developing in the weekly directors meetings. 2025W Danny sent email to group and received feedback - work in progress. 2025S on going no update.
JH will look into the forms used for traditional judging so they can be posted on our web	Harrison	2025W	ongoing	2025S Harrison reached out to Vlach and Knapp to come up with some kind of explanation that can be put on the website and also the forms.

YEARBOOK INCOME-- 4 books left in paid stock in the EO

TICA Portion of Yearbook Income

JS Yearbooks	135	\$ 9,875.00	IW Pages	112	\$ 12,432.00
Canadian Yearbooks	10	\$ 755.00	Points Page	1	\$ 111.00
All Other Countries	80	\$ 6,930.00	Catalogs of the Year	1	\$ 111.00
Personalization	32	\$ 320.00	RW Top Ten Pages	63	\$ 6,993.00
Top 3 Intl Color	88	\$ 1,760.00	BOD/App Officials	2	\$ 222.00
2nd & 3rd Best of Breed Intl	41	\$ 615.00	Judges/IOTY/Judge Emeritus	7	\$ 777.00
Bottom 15 Regional Winners	42	\$ 630.00	Clerks	4	\$ 444.00
Bottom 15 RW Pages paid by Region	8	\$ 3,715.00	Breed/Color	69	\$ 7,659.00
Brands	24	\$ 344.00	Misc	2	\$ 222.00
Supremes	59	\$ 1,090.00			\$ 28,971.00
In Memory	5	\$ 92.00			
JS/OD	8	\$ 148.00			
Lifetime Achievement	21	\$ 394.00			
Advertising		\$ 9,433.00			
		\$ 36,101.00			
TICA Portion of Yearbook Income		\$ 28,971.00			
		\$ 65,072.00			

YEARBOOK EXPENSES

Costs Publishing	225 Books	\$ 29,500.00
Costs Personalization	32	\$ 200.00
Costs US Shipping & Supplies	111 Books	\$ 1,339.56
Costs Shipping to Editor	114 Books	\$ 358.70
Shipping Supplies--Editor		\$ 192.50
Shipping--Editor	97	\$ 6,596.54
Editor Salary		\$ 14,000.00
Editor Expenses		\$ 339.71
Expenses		\$ 52,527.01
Income		\$ 65,072.00
Profit		\$ 12,544.99
		\$ (16,426.01)

予算案 - 料金値上げ：一律 10%、クラブ割引 5%

COO、ダニー・ネバレス

T システム：Salesforce (TFMS)

要求された変更の説明

この提案は、202X 会計年度から TICA 手数料を一律 12%引き上げるプログラムを導入するとともに、各クライアントの総購入額の 5%を TFMS で選択されたホームクラブに還元します。還元は、クライアントが購入時に指定したホームクラブに基づいて、四半期ごとに行われます。ホームクラブが選択されていない場合、還元は TICA 一般基金にデフォルトで戻されます。

この制度により、TICA の純収入が少なくとも 5%増加し、同時にクラブに直接的な金銭的インセンティブが提供されます。規模の異なるクラブ間の公平性を促進するため、クラブあたりの還元額には年間 5,000 ドルの上限が設けられます。これにより、大規模クラブが不均衡な利益を得ることがなくなり、小規模クラブや新興クラブがプログラム全体の持続可能性を維持しながら、有意義な支援を受けることができます。クラブの払い戻しが上限を超えた場合、超過分は一般基金補助金、特別プロジェクト、地域ショー補助金などの共同イニシアチブ、または教育およびアウトリーチ活動のための TICA 全体の基金に繰り入れられます。

望ましい最終結果：

TICA に持続可能な収益成長をもたらす、運営と革新のための資金を確保するとともに、クラブにリポートを提供し、ショー、マーケティング、会員募集を強化するための資金と権限を与えます。

TICA の中核機能との連携

この提案は、TICA の中核機能全体において、前年比での成長を達成するための戦略です。これにより、クラブが参加を促進するインセンティブを得られる、相互に有益なエコシステムを構築し、最終的には草の根の取り組みを通じて中核指標の前年比成長を促進します。

データプライバシーとコンプライアンスに関する考慮事項

新たな個人データの収集は行われなため、該当しません。ただし、リポートを受け取るクラブは、簡単な年間契約を通じて、TICA 準拠の活動（ショー、教育など）に使用することを確認する必要があります。

事務局コメント

TICA は、創造的な収益戦略がなければ、クラブへの資金提供が停滞するリスクがあります。クラブへの資金提供は、TICA の成長だけでなく、長期的な持続可能性にも不可欠です。会場費やショー制作費の高騰は、クラブが質の高い TICA ショーを開催する上で大きな阻害要因となっており、これは世界中で依然として問題となっています。この機能は、クラブが TICA サービスへの参加と利用を増やすことを促し、同時に、質の高いショー、教育、アウトリーチ活動への投資を可能にします。このインセンティブは、成長を分散化し、企業スポンサーへの依存を減らす機会となります。

提案されている項目別手数料の引き上げ：

提案されている手数料は、便宜上 0.50 ドル単位に四捨五入されています。このモデルでは、各顧客の合計購入額の 5%が、TFMS で選択されたホームクラブに四半期ごとにリポートされます。その結果、リポート後の TICA の収益は純額で 7%増加します（総額 2,917,676 ドル、リポート 145,884 ドル、純額 2,771,792 ドル）。

Service/Category	Current Member Fee	Current Non-Member Fee	Proposed Member Fee	Proposed Non-Member Fee	FY2025 Revenue	Projected Revenue (12% Increase)	Projected Increase
Regular Memberships (1-Year)	\$30.00	\$30.00	\$33.50	\$33.50	\$192,298	\$215,374	\$23,076
Cattery Registrations	\$75.00	\$80.00	\$84.00	\$89.50	\$203,768	\$228,220	\$24,452
Litter Registrations	\$13.00– \$16.00	\$15.00– \$18.00	\$14.50– \$18.00	\$17.00–\$20.00	\$572,492	\$641,191	\$68,699
Blue Slips (Cat/Kitten Reg from Litter)	\$10.00	\$12.00	\$11.00	\$13.50	\$320,152	\$358,570	\$38,418
Certified Pedigree (5-Gen)	\$50.00	\$50.00	\$56.00	\$56.00	\$280,400	\$314,048	\$33,648
Individual Cat Registrations	\$20.00	\$20.00	\$22.50	\$22.50	\$156,240	\$174,989	\$18,749
Web Breeder Listings	\$80.00	\$80.00	\$89.50	\$89.50	\$180,170	\$201,790	\$21,620
Transfers/Leases	\$13.00– \$7.00	\$15.00–\$9.00	\$14.50–\$8.00	\$17.00–\$10.00	\$103,301	\$115,697	\$12,396
Title Confirmations	\$5.00– \$10.00	\$5.00–\$10.00	\$5.50–\$11.00	\$5.50–\$11.00	\$36,305	\$40,661	\$4,356
Show Licenses (Per Ring)	\$15.00– \$10.00	\$15.00– \$10.00	\$17.00– \$11.00	\$17.00–\$11.00	\$29,950	\$33,544	\$3,594
Other (Aggregated Items)	Varies	Varies	+12%	+12%	\$530,392	\$594,039	\$63,647
Total	-	-	-	-	\$2,605,068	\$2,917,676	\$312,608

予算案 – TFMS にブリーダークライアントと猫のリンクを追加

COO、Danny Nevarez 関連 IT システム：Salesforce (TFMS)

要求された変更の説明

この提案は、ブリーダーが構造化されたフォームを使用して TFMS に顧客情報を追加したり、ペット購入者が安全なフォームを使用して詳細情報を自ら送信したりできる新しいワークフローを導入します。このフォームでは、連絡先情報、家庭内の他のペットなどの基本的な情報、猫が室内飼いか屋外飼いかなどの項目を入力し、顧客の同意を求めるチェックボックスも設けられています。ブリーダーが顧客情報を直接入力する場合は、必須のチェックボックスを使用して、顧客から明示的な許可を得ていることを確認する必要があります。ただし、このワークフローは、ペット購入者が自ら情報を入力することを促進および奨励するように設計されています（例：ブリーダーが共有するフォームへのリンクを通じて）。ブリーダーは、TFMS 内で特定の子猫を顧客にリンクすることもできます。この機能は、ペット購入者へのターゲットを絞ったアウトリーチを可能にし、猫の登録（登録数の増加）、ショーへの出陳（キャットショーの増加）、そして TICA の猫のケアに関する教育リソースの利用を促進することで、TICA の中核機能を直接サポートします。

期待される最終結果

ブリーダーは顧客との関係を管理し、子猫の譲渡状況の追跡を改善できます。透明性の高いデータ処理を通じて信頼を高め、プライバシーを重視する購入者の参加を促進します。最終的には、コア機能の前年比成長を促進します。未登録のペット購入者へのメールキャンペーンの促進による登録数の増加、自動更新の促しと TFMS 限定機能による会員数の増加、潜在的な初出展者を発掘・育成することでキャットショーの開催数を増やすこと、そして新しい飼い主と猫のケアに関する知識を共有することで教育を支援することなどです。

TICA コア機能との連携:

この提案は、TICA の主要機能全体で前年比増加を達成するための基礎戦略です。

- ・ 登録:

ブリーダーが TFMS でペットの購入者を追跡できるようにし、子猫や猫の登録を促す電子メール キャンペーンを促進します (例: 「ブリーダーがペットの購入者を追加および追跡できる機能を実装する」)。

- ・ メンバーシップ:

ペット購入者を TICA リソースに結び付けることでメンバーのエンゲージメントをサポートし、更新や限定機能へのアクセスを増やすことができます。

- ・ キャットショー:

収集したデータを活用して、参加資格のあるペットの飼い主を特定し、初出陳者として育成することで、ショーと参加者の増加を促進します (例: 「ペット購入者にキャットショーへの出陳を奨励する」)。

- ・ 企業パートナー:

ペットの飼い主のより大規模で熱心な視聴者を構築し、強化された印象とリーチを通じて ICA をスポンサーシップにとってより魅力的なものにします。

- ・ 教育:

信頼できる機関としての TICA の役割に沿って、猫のケアに関する知識の共有を促進し、責任ある猫の飼い主のためのコンテンツ計画をサポートします。

データプライバシーとコンプライアンスに関する考慮事項

GDPR とプライバシーリスクに関するこれまでのフィードバックに応え、この提案では、GDPR などの関連データ保護規制への準拠を確保するために、「プライバシー・バイ・デザイン」の原則を取り入れています。主な安全策は次のとおりです。

- ・ 安全対策を備えた二重入力モード:

ペット購入者は、安全で構造化されたフォーム (例: Salesforce の Web-to-Lead またはコミュニティポータル統合) を介して連絡先情報を自己入力することが推奨され、第三者による入力を最小限に抑えます。一方、ブリーダーはデータを入力できますが、クライアントの明示的な許可を得ていることを確認するチェックボックスをオンにする必要があります。この確認は監査ログで記録されます。この柔軟性により、多様なユーザーニーズに対応しながら、自己入力を優先することでプライバシーリスクを軽減します。

- ・ 明示的な同意メカニズム:

データの保存または処理前に、必須のチェックボックスにペット購入者の同意 (またはブリーダーによる入力時に確認) が必要となります。同意に関する文言は明確かつ詳細に記述され、TICA のプライバシーポリシーへのリンクが含まれます。購入者は、EO へのメールでいつでも同意を撤回できます。

- ・ データの最小化とセキュリティ:

データは暗号化され、Salesforce のロールベースの権限に基づき、ブリーダーのアクセスは必要な人に限定されます。機密性の高い個人データ (健康情報など) は収集されません。

- ・ GDPR 権利の有効化: 本 EO は、アクセス、訂正、消去 (「忘れられる権利」)、ポータビリティといった権利をサポートします。例えば、クライアントはデータ削除をリクエストし、GDPR 規則の範囲内で、レコードのリンクを解除してページする自動ワークフローを起動することができます。

- ・ 法務レビューと監査: 本設計は、法務顧問による徹底的なレビューと承認を受けます。

- ・ リスク軽減:

潜在的なリスク (データ侵害など) は、GDPR の 72 時間報告要件に準拠した監査ログや侵害通知プロトコルなどの Salesforce の組み込みセキュリティ機能を通じて対処されます。

Affects to the Following TICA Metrics

TICA Parameter	Impact of Proposal	Tied to Core Function(s)
Breeder Support	Enables breeders to better manage and follow up with clients.	Registrations, Memberships
Member Engagement	Provides new outreach opportunities to pet buyers.	Memberships, Cat Shows, Education
Data Insight	Lays groundwork for future tools to track placements.	Registrations, Corporate Partners
System Integration	Supports connection between breeder and client data in TFMS.	All (enables cross-functional strategies)
Growth Metrics	Facilitates targeted campaigns to encourage cat registrations and show participation.	Registrations, Cat Shows
Partnership Opportunities	Provides audience data to attract sponsors by demonstrating reach to pet buyers.	Corporate Partners
Educational Outreach	Allows sharing of resources on responsible cat ownership with new owners.	Education

Summit Estimated Cost

Category	Estimated Hours	Estimated Amount
Data Model & Field Configuration	3	
UI Enhancements	2	
Email Automation	10	
Permissions & Sharing	2	
Link Clients to Cats	2	
Privacy Impact Assessment & Compliance	3	
Testing & Validation	5	
Deployment & Documentation	2	

Category	Estimated Hours	Estimated Amount
Total	29	\$6,525.00

Breeder Feedback and Validation

To ensure this proposal aligns with user needs, I personally interviewed over twenty breeders about their current processes and the potential benefits of this feature. All reported using separate spreadsheets to track pet buyers, highlighting inefficiencies in managing client relationships outside TFMS. Every interviewee expressed strong positive interest in integrating this workflow directly into the system, noting it would streamline follow-ups, enhance kitten placement tracking, and support better outreach. Video recordings of these reactions are available upon request, demonstrating enthusiastic support and confirming the value for TICA's breeder community. Breeders specifically noted how this would contribute to increasing Registrations by having their client record built into TFMS.

Executive Office Comments

The Executive Office supports this proposal. Without it, TICA is missing a significant opportunity to provide value to our breeders. This functionality allows us to better share the collective knowledge of our members and clients on feline care. It also presents a critical chance to engage pedigreed cat owners, encouraging them to register and show their cats when eligible. The lack of this capability, in our opinion, represents a missed opportunity for outreach, education, and growth for the cat fancy. **Furthermore, in several regions, TICA breeders are already giving away their client data to Purina and Royal Canin and allowing outreach of products to TICA clients. This data belongs with TICA, so we can build a stronger Cat Fancy and harness the value of TICA's client base.**

Comments:

Affects to the Following TICA Metrics

TICA Parameter	Impact of Proposal	Tied to Core Function(s)
Breeder Support	Enables breeders to better manage and follow up with clients.	Registrations, Memberships
Member Engagement	Provides new outreach opportunities to pet buyers.	Memberships, Cat Shows, Education
Data Insight	Lays groundwork for future tools to track placements.	Registrations, Corporate Partners
System Integration	Supports connection between breeder and client data in TFMS.	All (enables cross-functional strategies)
Growth Metrics	Facilitates targeted campaigns to encourage cat registrations and show participation.	Registrations, Cat Shows
Partnership Opportunities	Provides audience data to attract sponsors by demonstrating reach to pet buyers.	Corporate Partners
Educational Outreach	Allows sharing of resources on responsible cat ownership with new owners.	Education

Summit Estimated Cost

Category	Estimated Hours	Estimated Amount
Data Model & Field Configuration	3	
UI Enhancements	2	
Email Automation	10	
Permissions & Sharing	2	
Link Clients to Cats	2	
Privacy Impact Assessment & Compliance	3	
Testing & Validation	5	
Deployment & Documentation	2	
Category	Estimated Hours	Estimated Amount
Total	29	\$6,525.00

Category	Estimated Hours	Estimated Amount
Total	29	\$6,525.00

ブリーダーからのフィードバックと検証

この提案がユーザーのニーズに合致していることを確認するため、20名以上のブリーダーに直接インタビューを行い、現在のプロセスとこの機能の潜在的なメリットについて検討しました。全員がペット購入者の追跡に別々のスプレッドシートを使用していると回答し、TFMS 外での顧客関係管理の非効率性を浮き彫りにしました。インタビュー対象者全員が、このワークフローをシステムに直接統合することに強い関心を示し、フォローアップの効率化、子猫の譲渡追跡の強化、そしてより効果的なアウトリーチの実現につながると指摘しました。これらの反応を録画した動画はリクエストに応じて提供可能であり、熱心な支持と TICA のブリーダーコミュニティへの価値を裏付けています。ブリーダーは特に、顧客記録を TFMS に組み込むことで、登録数の増加に寄与する点を指摘しました。

事務局のコメント

事務局はこの提案を支持します。この機能がなければ、TICA はブリーダーに価値を提供する大きな機会を逃すこととなります。この機能により、会員やクライアントが持つ猫のケアに関する知識をより効果的に共有できるようになります。また、血統書付き猫の飼い主を積極的に関与させ、登録や資格取得後のショーへの参加を促す重要な機会にもなります。この機能の欠如は、猫愛好家への啓蒙、教育、そして成長の機会を逃すことになると考えます。さらに、いくつかの地域では、TICA のブリーダーが既に顧客データをピュリナ社とロイヤルカナンに提供し、TICA の顧客への製品販売を行っています。このデータは TICA に属するものであり、より強力な猫愛好家団体を構築し、TICA の顧客基盤の価値を最大限に活用することができます。